

第五十九回
帝國議會
貴族院

米穀法中改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

昭和六年三月十六日(月曜日)午前十一時
四十九分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 開會イタシマス、橋本君

○橋本圭三郎君 チョットマダ、ドナタカラモ御聴キニナラヌヤウデアリマスカラ、私チョット御伺ヒ致シマス、ソレハ是カラ生産費トソレカラ家計費ヲ調べルコトガ、一ツノ方ハ農林省ノ方デ調べテ、一ツハ統計局ノ方デ調べル、ソレガ必ズ同時ニ出來ハシナイガ、……出來ルコトモアルカモ知レヌケレドモ、一ツハ先キニ出來、一ツハ遅ク出來ルト云フコトハアリ得ルコトデアアル、サウ云フ場合ニハ一ツ出來タラ其一ツダケヲ率勢米價ノ第三ノ方ノノト、二ツダケデ以テ決メラレマスカ、二ツガ出來ルマデ待ッテ居ッテ、サウシテ第三ノ調べノ今アルモノト二ツヲ結付ケテ決メラレマスカ、其點ガマダ、チョットハッキリシテ居ラヌヤウデアリマスカラ伺ッテ置キタイ

○國務大臣(町田忠治君) 私共ノ今日ノ考ヘテ居ル所デハ、生産費ノ調べト家計費ノ調べハ大體同シ年ニ雙方ノ調べヲ了ヘル積リデ考ヘテ居リマス

○橋本圭三郎君 サウスルト、一ツノ方ガ出來テモ一ツガ若シ出來ナカタラ、ソレマデ待ッテ居ルト、斯ウ解釋シテ宜ウゴザイマスカ、積リデアッテモ片方ノ方ハ早く出來ルシ、片方ハ遅ク出來ル、態、出來タノヲ長引カシテ置クト云フ譯ニモ行カヌデセウカラ、結論ヲ農林大臣ノ方ヘ兩方カラ申出デラレルノガ同時デナイカモ知レナイト思ヒマス

○國務大臣(町田忠治君) 大體御承知ノ通り、米ヲ政府ガ買ヒマスカ場合ニハ、率勢米價下値ニ割ト生産費ト、此二ツヲ以テヤルノデス、國ガ米ヲ賣リマスカ場合ハ率勢米價上値ニ割ト家計費トヲ以テヤルノデアリマスカラ、橋本委員ノ御話ノ如ク、政府ガ米ヲ買フト云フ時ニハ家計費ノ調べガナクトモ宜イヤウニモ見エマス、政府ガ米ヲ賣リマスカ場合ニハ生産費ノ調べハナクトモ宜シイデアリマセウ、出動ノ基準トナリマスカ場合ニハ、家計費ト生産費ト雙方一度ニ使ッテ出動スル場合ガナイコトハ申スマデモアリマヌガ、矢張り消費者ト生産者ト利害ヲ大體ニ於テ調和シテ、暴騰暴落ヲ防グト云フ立前カラヤルノデアリマスカ

ラ、ドウシテモ二ツノ調査ガ出來マシタ時ニ、大局ノ上カラ觀察スル必要上雙方欲シイノデアリマス、ソレカラ申スマデモナク生産費ノ方ハ今年ノ幸ヒ御協賛ヲ得テ此法律ノ改正ガ出來マスト、生産費ノ方ハ本年ハ已ムヲ得ズ四月カラ始メテ十一月ニ出來上ガル筈デアリマス、家計費ノ方ハ九月カラ始メテ來年ノ八月ニ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、孰レニ致シマシテモ、早く出來マシテモ來年ノ末ニ於テ二ツノ調査ガ出來ル、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス

○子爵片桐貞夫君 簡單ナコトヲ先キニチヨット御尋イタシマスカ、政府現在ノ所有米高ニ付テ只今表ヲ戴キマシテ分リマシタガ、今日迄所有現在ノ持米ノ處分ヲ實際ニハドウ云フ風ニ處分サレテ居リマスカ、ソレト……ソレヲ先キニ伺ヒマス

○國務大臣(町田忠治君) 昨年中、米穀委員會ノ諒解ヲ得マシテ、古米ノ整理賣却ノ方法ニ依リマシテ古米ヲ整理イタシタモノハ、三回ノ間ニ九十數萬石、ソレカラ大體米穀法ニ依ッテ國家自ラ買フトハ已ムヲ得ヌ時ニハ致シマスカモノ、出來ルナラバ

之ヲ避ケマシテ、需要ノ供給ヲ調節スルコトニ私共ハ此度最モ力ヲ入レマシテ、外國ニ向ッテ賣出シタ分量ハ此表ニハ五十數萬石ト載ッテ居ルト思ヒマスガ、昨今ノ狀態カラ申シマスト、更ニ數量ガ増シマシテ今日マデ既ニ七十萬石位ノ約定ガ出來テ居ル譯デアリマス、申シ換ヘレバ、政府ガ昨年ノ秋頃持ッテ居リマシタ總高ガ三百二十萬石デアリマシテ、約百萬石近イモノハ三回ノ整理賣却ニ依ッテ民間ニ賣出シタノデアリマス、ソレハ需要供給カラ申シマスト、内地ニ於テ消費サレタモノト、更ニ七十萬石バカリハ外國ニ向ッテ賣出シタノデアリマスカラ、純然タル内地ノ需要供給以外ニ之ヲ充テ、左様イタシマシテ、更ニ昨年ノ暮ニ二百萬石、今年百萬石買ヒマシタ爲ニ、御廻シシテアリマス數量ガ現在ノ政府所有ニナッテ居ル、斯ウ云フ形ニ相成、テ居リマス

○子爵片桐貞夫君 細カイトハ後デ御聴キ致シマスカ、サウ致シマスト今回御買入レニナリマシタ數モ此中ニ入ッテ居ルノデアリマスカ、ソレカラ序ニ尙ホモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、今回ノ所謂米穀法ノ發動

ニ依テ御買入ニナツタ時期ハ二回デアルト
思ヒマスガ、ソレ等ノ時ノ經濟界ノ狀態ハ
ドウ云フ狀態ニアリマシタノデスカ、矢張
リ米穀法ノ發動サレタ、所謂買入レラレタ
時ニ於テハ米價ノ率ト云フモノハ農林省デ
ハ此率勢米價ヲ標準ニ御取りニナツテ御覽
ニナツノデスカ、或ハ今マデ通り標準ニ
御取りニナツテ居タノデスカ、ソレカラ今
後モ若シ御買入レニナルトスレバ、率勢米
價ノミデオヤリニナルグラウト思ヒマス
ガ、現今ハドウ云フ狀態ニナツテ居リマス
カ、御買入レニナツタ時ト、ソレカラ第二回
ニ御買入レニナリマス間ノ米價ノ上り下り
ハドンナ風ニナツテ居リマスカ、是等ノ所
ヲ詳シク伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(町田忠治君) 大體私カラ御答

ヘ致シマシテ詳細數字ニ互テハ局長其他
ノ政府委員カラ申上ゲマス、昨年来穀法ヲ
出動イタシマシタノハ、御承知ノ通り第一
回ノ昨年ノ收穫豫想ガ、古今未曾有ノ六千
八百八十萬石デアッタノデアリマス、更ニ十
一月ニナリマシテ、從來ニナイ一回ト二回
トノ差ガ生ジマシテ、百五十萬石位ガ減タ
ト云フ第二回ノ豫想ガアッタノデアリマス、
更ニ今年ノ實收ニ至ッテハ不思議ニモ、第二
回ノ豫想ノ百五十萬石減タト云フコトガ

又更ニ第一回豫想ノ如ク六千八百八十萬石
石ト云フ實收額ニ相成ッタノデアリマス、左
様ニ三回ノ豫想ガ出テ居リマスガ、第一回
豫想ガ出マシタ時ニ、他ノ事情モゴザイマ
セウガ、供給過多ト云フ大體ノ觀測カラ、
定期ニ於テハ十五圓位マデ米ガ下リマシタ
時ニ出動イタシタノデアリマス、御承知ノ
通り唯今ノ米穀法ノ立テ方ハ、ソレヲ買入
レマスル政府ガ買入價格ヲ公ニスル標準
ハ、時價ニ依ッテ定メルト云フコトデアリマ
シテ、此度ノ改正法ノ基準米價ト云フヤウ
ナコトハアリマセヌ、長イ間ノ法律ノ立テ
方ハ時價ニ依ッテ買入レルト云フノデアリ
マシテ、各地方ノ深川現物正米ヲ標準ト致
シマシタ、所ニ依ッテハ大阪、東京、各地ノ
買入場所ニ依ッテ違ヒマスルガ、先ヅ十七圓
ト十八圓ノ間デ時價ニ依ッテ買入レタノデ
アリマス、而シテ今日ノ所ノ實際ハ矢張り
其邊ノ相場ニ相成ッテ居リマス、一時買入レ
マシタ後ニ、其買入レマシタ價格ヨリモ低
落シテ居リマス、是ハ何カ定期取引ノ關係
等ガアリマシテ、斯様ニ相成ッタヤウデアリ
マスガ、第二回ノ買上ヲ致シ、更ニ昨今此
數日ノ間ニ十八圓數十錢ト云フ相當價格ガ
上リ氣味ヲ現ハシテ居ルノハ、察スルニ他
ノ事情モアリマセウガ、此米穀法ガ改正案

ガ通過イタシマシタ時ニハ、率勢米價下値
二割ト申スノガ、稍、其邊ノ相場ニアルト
云フコトガ一般ニ觀測サレテ居ル爲ニ、此
數日ノ間幾分カ上ッテ來タ、斯ウ云フ形ニ相
成ッテ居ルヤウニ思ハレマス、尙ホ詳シク統
計等ニ依リマシテ局長カラ説明イタシマス
○子爵片桐貞夫君 サウスルトモウツ簡
單ニ伺ヒマスガ、今日ハ今御話ノ通り率勢
米價ヨリ二割下ッタ傾向ニアルノデアリマ
スカ、ソレヨリマダ下ニゴザイマスカ
○國務大臣(町田忠治君) 衆議院デ展、此
問題モアリマシタノデアリマスガ、昨年ノ
此案ニ依リマスル十一月ノ當時ノ物價ノ平
均數ニ、所謂米價ノ趨勢値カラ割出シタ今
日ノ米價ハ、ドノ邊ニアルガ適當デアラウ
ト云フ此算法ニ依リマスルト、此十八圓二
十八錢ガ下値二割ノ所ニアルノデアリマ
ス、左様デアリマスルカラ、大體今日ハ其
邊ニ近イ所デ落著イテ居ルト云フヤウナ現
狀デゴザリマス

○國務大臣(町田忠治君) 此案ガ通りマシ
テ、若シ政府ニ餘力ガアッテ、私共モ努メテ
國費ヲ澤山費シテ米ヲ買ヒ、之ガ爲ニ色ミ
缺損ヲ生ズルト云フコトヲ出來ルダケ避ケ
ル心持デ努力イタシテ居リマスガ、政府ニ
若シソレ以下ニ下レバ、政府ガ出動シテ買
フベキ力ガアルト云フコトガ世ノ中ニ公ケ
ニナツテ居リマスルト、私共ハ率勢米價以下
ニ米ハ下ラス、定期取引者ノ間ニ賣トカ買
トカ随分波瀾ガ生ジテ、先般ナドモ十五圓
ヲ潛ッタ程ノ取引ガアリマシタガ、政府ガ威
力ヲ以テ而シテ率勢米價下値二割ニハ出
動スルモノト見マスルト、ソレ以下ニハ大
體政府ガ買ハズシテ、ソレ以下ニハ參ラヌ
ト斯ウ云フ考ヲ有シテ居リマス
○政府委員(石黒忠篤君) 只今片桐子爵ノ
御尋ネノゴザイマシタ第一ニ政府ガ昨年夏
以來賣却ヲ致シマシタ米ノ數量ノコトヲ申
上ゲテ見タイト思ヒマス、大臣モ申サレマ
シタヤウニ、三回ニ互リマシテ昨年ノ夏カ
ラ整理賣却ヲ致シマシタ其合計ガ八十九萬
六千石餘ニナツテ居リマス、ソレカラ其外ニ
尙ホ公共的ノ團體ニ對シマシテ、災害地其
他ノ地方ニ於ケル公共團體ニ對シマシテ、
隨時賣却ヲ致シマシタノガ合計ニ於キマシ
テ十萬六千石餘ニナツテ居リマス、ソレカラ

○子爵片桐貞夫君 尙ホ伺ヒマスガ、サウ
致シマス、十八圓二十八錢ニナツテ居ル
ト云フ御話デアリマスナラバ、此度此法
案ガ通りマシタ場合ニハ此米穀法ノ出動ヲ
御用ヒニナラヌデモ宜イコトニナルノデア
リマスカ

海外賣却ヲ致シマシタモノガ、スツカリ手續ヲ了シマシタノガ四十二万五千石ト云フコトニナッテ居リマス、ソコデソレ等ヲ總テ合計ヲ致シマスと云フト百四十二万七千石ト云フ大體ノ數字ニナッテ居リマス、是ダケノモノヲ政府ガ昨年夏カラ賣却ヲ致シマシタノデアリマス、ソレカラ買入ノ方ニ付テノ御尋ネデゴザイマスガ、第一回第二回買入ヲ致シマシタ其數字ヲ申上ゲマスルト云フト、第一回ノ買入ハ十一月ノ二十日ニ米穀委員會デ以テ決定ヲ致シマシテ二百萬石ノ買入ヲ決定イタシタノデアリマス、十二月十六日カラ二十日迄ノ間ニ於テ是ノ買入ノ實際ノ申込ヲ受ケマシテ、具體的ニ買入ヲ決定イタシタノデアリマス、其數量ガ百九十四萬石デアリマス、二百萬石買入ト云フ主義ヲ決定イタシマシタノニ對シマシテ實際具體的ノ買入ノ決定イタシマシタノガ百九十四萬石デアリマス、ソレカラ第二回ノ買入ハ實際ノ米ノ實收獲ノ發表ガアリマシテ、第二回豫想ヨリモ多カッタノデアリマシテ、其爲ニ買入ヲ百萬石イタスト云フコトニ二月ノ一日ニ米穀委員會ニ於テ方針ヲ決定シタノデアリマスガ、二月十六日ヨリ具體的ニ買入申込ヲ受ケマシテ決定ヲ致シマシタモノガ七十四萬八千石ト云フコトニ相成ッ

テ居リマス、ソコデ第二回ノ百萬石ノ買入ニ對シマシテハ約二十五萬七千石ト云フモノガ數量ガ滿チマセヌノデ、追加的ニ之ヲ第三回ト申シマスルヨリモ不足分ヲ買入レマシテ三月五日カラ九日ノ中ニ追加的ニ申込ヲ受ケテ決定ヲ致シマシタノガ、丁度不足分ダケノ二十五萬七千石ト云フモノニナリマス、即チ全部ヲ合計イタシマシテ約三百萬石ノ買入ヲ致シタノデアリマスルガ、是ハ總テ新米デゴザイマシテ、ソレノ數量ハ御手許ニ差上ゲマシタ政府所有米調ノ中ニハ全部這入ッテ居リマス、左様御承知ヲ御願ヒ致シマス、ソレカラ價格ノ點ハ大臣ガ御話ニナリマシタヤウナ事情デゴザイマスカラ、私カラ繰返シテ申上ゲマセヌノデゴザイマスガ、大體ニ於キマシテ第一回ノ買入ヲ實行イタシマシテカラ以後ハ、ズツト正米ノ價格ハ水平的のニズツト維持ヲシテ居リマス、斯ウ云フ事情デアリマス、此處ニ足取表ガゴザイマスカラ後刻御覽ヲ願ヒマスト分リマスガ、其時マデハ可ナリ斜ニ落チテ參リマスガ、第一回ノ買入以後ハ大體水平のニズツト米價ヲ維持シテ居ル、斯ウ云フ事情デゴザイマス、而シテ大臣カラ申上ゲマシタヤウニ大體ニ於テ率勢米價下値二割ノ邊ヲ稍、下ッテ居ルト云フ程度デアリマ

スガ、大體其點ニ於テ維持シテ居ルト云フノガ現狀デゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) ココデ休憩イ

タシタイト思ヒマス、午後ハ一時半カラ開會イタシマス

午後零時十七分休憩

午後一時五十五分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ午前ニ

引續キマシテ委員會ヲ開キマス

○男爵今枝直規君 先日來皆様ノ御質疑ヲ

承ハッテ居リマスルガ、此米穀法ニ付キマシテハ、内容ニ迄御立入りニナッテ、至極適切ナル而モ該博ナル御意見デアリマシテ、誠ニ

私モ傾聴シテ居ッテ次第デアリマス、然ルニ私ハ此方ノ知識ガ淺イノデ、マダ内容ニ迄立入ッテ御伺ヒスルヤウナコトハ出來ナイ

ノデアリマスルガ、是ハ他日ニ讓リマシテ今日ハ唯大體ニ付テ伺ッテ見タイト思ヒマ

ス、米ノ數量ヲ調節シ、又價格ヲ安定スルト云フコトハ、是ハ國家ノ專賣法ニ依ッテ

ヤラナケレバ、到底其目的ヲ達スルコトハ出來ナイト云フコトハ、是ハ周知ノ事實デ

アリマス、私モ大イニ然ルモノト思ヒマス、併ナガラ刻下ノ事情ハ到底之ヲ許シマセヌ

ガ故ニ、只今ノ現行法ガ出來テ居ルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ其成績ヲ

見マスルニ、私ノ期待ヲ裏切ッテ居ル事ガ可ナリ多イノデアリマスルコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、所ガ此度政府ガ改正案ヲ御出シニナリマシタ、因ッテ私ハ先ヅ以テ農林大臣ニ御伺ヒシタイトハ、政府ハ現行法ニ於ケル成績ヲ如何ニ御覽ニ

ナッテ居ルノデアリマスルカ、成績ガ良好デアツカ、又ハ餘リ思ハシクナイト云フ御考ヘデアリマスルカ、若シ思ハシクナイト云フ御考デアリマスルナラバ、如何ナル所ガ思ハシクナイト思召アルカ、其點ヲ第一ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○國務大臣(町田忠治君) 唯今ノ今枝男爵

ノ大體ニ付キマシテノ御尋デアリマスカラ、私ヨリ御答辯申上ゲマス、現行法ノ大

正十年以來今日マデ實行シマシタル其跡ヲ顧ミマス、世間デモ此米穀法ノ效果ニ付

キマシテ、色ミナ意見ノアリマスコトハ、御承知ノ通りノ次第デアリマス、併シ大正

七八年ノ米騒動ヲ惹起シタ當時ノ物價ノ暴騰竝ニ八年九年ニカケマシテ、相當大キナ

平年作以上ノ收穫ガアリマシタ爲ニ、非常ナ大暴落ヲ來シテ、米騒動ノアリマシタ時

ニ比べマスト半額以下ニ米ガ下ツタト云フ、此暴騰暴落ガ一面ニハ消費者ノ生活ヲ脅カ

シ、一面ニハ生産者ノ收支相償ハヌ爲ニ、

農家が非常な損失ヲ來シタト云フ此事實カラ見マシテ、米穀法ハ十年ニ出來タノハ御承知ノ通りデアリマス、大體ニ於テ米價ノ暴騰暴落ヲ防グト云フ事柄ニ付キマシテハ、此米穀法ノナカリシ當時ニ比べマス、相當ノ效果ガアツタト、大體世ノ中モサウ見テ居リマスシ、私共モサウ考ヘマスガ、或ハ買上ゲ、或ハ賣出スト云フコトニ付キマシテハ、何カノ標準ガナイ爲ニ或ハ其米穀法ヲ濫用シタト見ル……世ノ中ニハサウ云フ見方モナイデアアリマセヌ、ドウモ當局者ガ各、相當ノ理由ヲ以テ、相當ナル取調ノ上ニ責任ヲ以テ米穀委員會ニ諮リテ行キマスルモノ、其標準ガナイ爲ニ、米穀法ニ對スル非難ガアルノデアリマス、昨年、一昨年ノ特別會計ニ於キマシテ二億ノ資金ヲ有シテ居タ際之シキヲ告ゲマシテ、七千萬圓ノ特別會計ノ資金増加ノ案ヲ提出イタシマシタ節ニ、貴族院ニ於カレマシテモ米穀法ヲ根本的ニ改正スルコトガ一つ、一ツハ特別會計ヲ整理スルコトノ御意見ガアツテ、其七千万圓ニ御同意下スツタ時ニモ、將來餘リ多額ノ資金ヲ要スル所ノ米穀法ノ出動ニ對シテハ十分ナル注意ヲ以テ運用イタセト云フコトト、此儘デハ將來財政ノ上カラ見マシテモ、餘程困難ナコトガ前途ニ横ハッテ居ル故ニ、根

本的ノ改正ヲセヨト云フ御言葉ヲ承ハッテ、前内閣ニ於カレマシテモ其趣意ニ副フ爲ニ米穀調査委員會ヲ一昨々年作りマシテ、現内閣モソレニ引續イテ相當長イ間研究ヲ致シテ、種々ノ意見ガアツタノデアリマス、特別委員會、小委員會ハ三十數回ニ互ツテ調査セラレ、前田子爵ガ特別委員會ノ小委員會ニ於キマシテモ會長トシテ日夜御努力ノ結果、一回二回ノ答申ヲ得マシテ、大體其答申ニ依リマシテ此度ノ案ヲ作りマシタノデアリマス、併シ政府ガ資金ノ増加ヲ得マシテ、米穀ノ下落ノ際ニハ買ウト、高イ時ニハ賣ルト云フ、政府ノ力一ツデ十分ナル效果ヲ舉ゲルコトハ頗ル容易デナイト考ヘマシタ故ニ、初メテノ試ミト申シテ宜シイカ、昨年大豐作ニ會ヒマシテ、此米價調節ヲ如何ニスルカニ付キマシテハ、當局モ非常ニ苦心ヲ致シマシテ、結局從來海外カラ少クトモ二百万石入ッテ外米ノ防止ヲスル爲ニ、關稅ノ改正及輸入商ニ對シテ許可主義ヲ厲行イタシマシテ、朝鮮臺灣ナドデハ此厲行ガ十分ニ參ラナカッタト云フモノヲ、此度ハ朝鮮臺灣ニ於テモ厲行シマシテ、從來多クハ五百万石少クトモ百七八十万石買入レマスル外米ヲ先ヅ大體ニ於テ防止イタシマシテ、供給ノ過多ヲ防グコトヲ一ツ

ノ施設ト致シマシタ上ニ、先刻モチヨット申シマシタ從來餘リ多ク試ミナカッタ海外ニ古米ヲ賣出シテ、供給ヲ減ラスト云フ施設モ致シテ、南洋支那及歐羅巴方面ニ向ケテモ相當ノ數量ガ出ツツアリマス、先刻農務局長ガ四十數萬石ノ約定取引ガ濟ンダト御答ヘ致シマシタガ、更ニ約定シテ居リマサルモノヲ加ヘマス、彼此七十萬石ノ、此四箇月餘リ五箇月足ラズノ間ニ於テ先ヅ七十萬石ノ輸出ガ出來得ル見込ガ現ニ立ッテ居ルノデアリマス、是ハ今後モ續ケテ行キマスノデ、相當ノ數量ガ出ル、此調節モ致シテ居リマス、更ニ朝鮮カラ入リマスル米ニ對シテハ、朝鮮ニ千八百万圓ト云フ低利資金ヲ與ヘマシテ、一時ニ内地ニ殺倒シテ來ル爲ニ内地ノ米價ヲ壓迫シ、之ガ爲ニ著シク低落ヲ生スベキ原因ト相成ッテ居リマスル朝鮮ノ入り方ヲ適宜ニ調節スルト云フ趣旨ニ致シテ居リマス、更ニ最モ力ヲ入レマシタノハ、斯カル大農作ノ時ニ當、テハ政府獨リノ力デハ如何ナモノデアラウカト云フ點カラ、預金部ニ交渉ヲ致シマシテ三千万圓ノ低利資金ヲバ親若クハ玄米貯藏ノ爲ニ各府縣ニ割當テテ低利資金ヲ出シテ、相當今日ハソレガ進ンデ參ッテ居リマス、更ニ内務省ニ於カレテモ、罹災救助基金ヲ府縣ガ

借入レテ、之ニ依ッテ各地方ニ於テ約五十萬石ノ米ヲ買入レルト云フヤリ方ヲ進メツツアリマス、斯様ナ方面カラ供給ヲ相當ニ調節イタシ、更ニ政府ガ此度三百萬石……二回ニ互ツテ三百萬石ヲ買入レマシタノデアリマスカラ、低利資金ニ依ッテ各地ノ農會若クハ產業組合等ガ中心トナリ、端境期マデ賣ラスト云フ約束ノ下ニ低利資金ヲ出シテ居ル、其數量ハ玄米ニ直シテ二百三十萬石ト云フノデアリマス、此效果ガ政府ガ買入レルト同ジ位ノ效果ガアルモノト私共ハ考ヘテ居リマスカラ、斯様ナ施設ニ依ッテ今後ノ米價ガ豐作ニ依ッテ更ニ暴落スベキモノガ相當防止サレルト思ヒマス、御尋ネハ從來ノ、現在ノ米穀法ノ效果ニ對シテノ御尋ネデアリマシタガ、相當ナ效果ガアツテ暴騰、暴落ヲ防イダコトハ十年以前ノ米穀法ノナカリシ當時ニ於テ、或ハ五十圓トナリ、直ニ二十五圓ニ奔下スルト云フヤウナコトガ避ケラレテ、消費者生産者兩方面カラ見マシテ、相當生活ノ安定、生産者ノ利益モ相當ニ保護シ得タと思ヒマスルガ、何分基準ガ無イ爲ニ米價ニ對シテ出動スルニ公正ナル判斷ヲ下スコトガ、何レノ内閣ニ於テモ同様頗ル困難ヲ感ジテ居ッタノデアリマスガ、幸ニ此案ノ協賛ヲ得マシタナラ

バ、大體ノ基準ガ出來マスルカラ、更ニ今日ニ比シテ著シキ效果モ舉ゲ得ラルト同時ニ、特別會計ノ方ニ於キマシテモ、從來ノヤウナ僅カ十年足ラズノ間ニ、一億五千萬圓ノ損失ヲ來スト云フヤウナコトヲ避ケ得ルト同時ニ、米價ガ比較ノ安定スルコトニ一層ノ效果ヲ舉ゲ得ラルト斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、大體……

○男爵今枝直規君 只今農林大臣ノ御説明

ヲ伺ヒマシタガ、色々御施設ノ結果相當ノ成績ヲ、此法ノナイ時分ニ比シマシテハ御舉ゲニナッテ居ルト仰シヤリマシタガ、私ハソコデ伺ヒタイノハ、此今日戴キマシタ米穀需給特別會計現況、之ヲ見マシテモ二億七千万圓ノ會計限度ニ對シマシテ買入金ガ一億九千六百万圓ニ相成ッテ居リマス、サウ致シマシテ其中デ損失ガ一億一千三百万圓ノ多キニ達シテ居ルノデアリマス、而シテ其殘リト云フモノハ僅カ七千四百萬圓ニナッテ居ルヤウナ譯デアリマス、此成績ハ大臣ノ仰シヤイマシタヤウニ、サウ上等ノ成績トハ申兼ネルノデアリマスガ、併シ米穀法ガ無い時ニ比シマスレバ、ソレハ幾分ノ效果ガアッタコトハ、ソレハ私モ認メマス、ソコデ私ハ政府ニ伺ヒタイノハ、今度改正ナサレタ理由ハ、現行法カ不備デアッタカラ、只

今承リマスレバ色々此公正ナル價格ヲ維持スルトカ、又當時ノ輸出入ニ付テ制限ヲスルトカ云フヤウナコトデアリマシタガ、然ラバ此法ノ不備デアッタ爲ニ今度改正ニナルト云フ御趣意デアリマスカ、又運用上ニ幾ラカ缺點ガアッタト云フコトカラ此改正ニナルノデアリマセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(町田忠治君) 一昨年ノ貴族院

ニ於カレマシテモ七千万圓増加ノ節ニ希望條件ト申サレマスカ、一致シタル意見ガ現レテ居リマシタガ、其時ニハ相當、此特別會計ニ於テ年々損失ヲ生ズル財政上ノ將來ヲ御考慮ノ上ニ御意見ヲ下サレタコトモ一ツト相成ッテ居リマス、ソコデ問題ハ、今ノ御尋ハ現在ノ米穀法ニハ何處ニ缺點ガアッテ、主トシテドノ點ヲ改正スル考ニナッタカト云フ御尋ガ一ツト、特別會計ノ方ニ對スル御尋ガ一ツアッタト思ヒマスガ、順序ガ後先キニナルカ知レマセヌガ、特別會計法ノ方カラ先ニチョット申シテ見タイト思ヒマス、私共、衆議院ノ委員會ニ於テモ屢、此特別會計ノ問題ガアリマシタガ、私ハ斯様ニ率直ニ私ノ考ヲ申述ベテ居タ、世間ハ十年間ニ一億五千万圓モ損ヲスルト云フナラ寧ロス様ナ米穀法ヲ廢シテシマッタ方ガ宜

カラウト云フ御説ガアル、米穀調査會ニ於テモ委員ノ中ニモ左様ナ御意見ヲ出サレタコトモアル、世間デモ國家財政ノ上カラ非常ナル損失ヲ來スモノト見ラレル方モアルノデアリマス、又一面カラ見マスル、此會計法ガ一切資金ヲ持ッテ居ラズニ事務費、事業費、營繕費、總テテ借入金デヤッテ居ルガ爲ニ損失ガ多クナッテ居ル、其損失ノ全部ガ米ヲ買ッテ損スルカ如ク解釋シテ居ル、相當私カラ見マスルト誤ッテ見解ヲ持ッテ居ル人モアルノデアリマス、御廻ハシシテアル表ニ依リマシテモ五千八百萬圓、十二月現在ノ所デ一億二千三百万圓缺損イタシテ居ル、五千八百萬圓ト云フモノハ何ノ損カト云フト、此特別會計ノ、是ハ不思議ナ特別會計デアリマシテ、一切ノ基金モ持ッテ居ラヌ、僅カ筆墨紙ヲ買入レルニ付テモ年々其金ニ利息ヲ附ケテ居ル、借金ヲ致スト云フコトノ爲ニ五千八百萬圓ト云フ米穀ノ買入レニ關係ノナイコトニ掛ッテ居ルノデアリマス、事業費、營繕費、事務費借入金利息三千六百万圓、ソレヲ合セテ五千八百萬圓ト云フ損失デアリマス、更ニ震災ノ損失、米ガ段々惡クナリ賣却損ト云フモノヲ合セテ此二ツガ五千八百萬圓トナッテ、總計一億六百万圓ト相成ルノデアリマス、ソコデ假

ニ八九箇年ノ間ニ純粹ノ損ト申シマスルノハ寧ロ會計法ノ立テ方ニ一切ノ基金ヲ持ッテ居ラヌ爲ニ生ズル損失トシテ現レル分量ハ寧ロ比較ノ多イ、斯ウ云フ立テ方ニナッテ居リマスカラ、米穀法運用ノ上ニ若シ基金ガアリマスレバ、年々五六百万圓位ノ損デ濟ンデ、農家ノ生産ヲ相當ニ保護スルガ爲ニ年々五六百万圓ヨリ使ハナカタ、斯ウ云フ見方モ見ラヌコトモアリマセヌ、ソコデ此度ハ更ニ八千万圓ノ増加ヲ要求スル所ノ必要ガサウ云フヤウナ點カラ生ジテ居ル事情ハ御承知下サルト思ヒマス、又モウ一ツノ米穀法ノ缺點ト致シマシテハ前申シマシタ通り、此法律ガ無カリシ時代ニ比ベマ

スレバ、此法律ガ有ッタガ爲ニ米價ノ暴騰暴落ヲ或程度ニ防止シタト云フコトノ事實ハ現レテ居リマス、併シ其出動イタシマスル基準ガ明瞭デナイガ爲ニ時ノ當局者ニ依ッテ考ヘ方ガ違フノデアリマス、如何ニモ此點ガ遺憾ナノデアリマス、時ノ内閣ノ當局者ノ考ニ依ッテ發動ノ必要、或ニ發動ノ分量及發動スル考ヘ方ガ屢々變化シテ來ル、茲ニ發動ガ世ノ中カラ見マシテ公正ナル發動ト云フコトニ國民ニ了解ヲ得ルコトガ困難ナ場合ガ屢々アッタデアリマス、此度ノ基準モ純然タル學理カラ申シマスレバ、正確ノ

コトニハ参リマセヌ、衆議院ノ委員會ニ於テハ率勢米價ヲヨシテ生産費、生計費ニ依リテヤルト云フ議論モ澤山アリマス、農會ヲ代表サレタ方ミニ於テハ主トシテ生産費ニ依ルガ宜シイ、率勢米價ト云フ既往三十年間ノ物價指數ニ對スル米價率……相當米價ニ重キヲ置イテ彼此レ二割以上、一般物價指數ニ依リテ生ジタ物價ノ傾キヨリ、米價ノ方ニ二割位重キヲ置イテ居ルト云フコトハ率勢米價ノ時ニ農務局長カラ詳シク御説明申シタコトト思ヒマス、併シ今實際カラ見マスルト率勢米價ノ下二割ト云フモノハ、十八圓何十錢ト云フコトニナルト云フ點カラ、衆議院ノ委員會デモソナ譯デハイカヌカラ生産費ニ依リテヤレ、現ニ帝國農會ノ生産費ハ二十六圓ト出テ居ルデヤナイカ、農林省ノ假リノ調べハ二十二圓足ラズ、寧ロ帝國農會ノ二十六圓ノ方ガ確カデナイカト云フ風ニ大分御希望モアリマシタノデスガ、其時モ私ハ申シマシタ、全國ノ生産費ノ百圓デ行ク所モアリ、八十圓デ行ク所モアリ、或ハ十四、五圓ニ止マル所ガアッテソレヲ平均シテ矢張り帝國農會ノ二十六圓ト出タノダガ、二十六圓デ假リニ買入レルトシテモ半分ト申シマスカ、其平均ヨリモ上ノ生産費ガ掛タ所ノ地方ノ農民カラ申シ

マスレバ二十六圓デ買ッテモマダ生産費ガ償ハヌト云フ苦情ガ出ルノデアリマス、併シ實際ヤリマスルニハ生産費ノ最高ノ生産費ヲ以テ米ヲ買上ゲレバ農家ハ満足スルト思ヒマスガ、實際ニ於テハ此度現ハレタノハ三十八圓位、四十圓位ノ帝國農會ノモノハ現ハレテ居リマス、サウシテ見マスレバ生産費一本デ參ッテモ矢張り苦情ガ相當各地方ニ出ル、此點ハ何人ガ責任者ニ相成リマシテモ困難ナ點デアリマス、併シ三十年間ノ人口ノ増加、食糧……、米ノ收穫ノ増加シテ來マシタ事情、年々ノ經濟事情ガ物價、米價ニ現ハレタ點ヲ三十年間ノ長イ眼カラ統計ニ依リテ見マスレバ、大體只今ノ物價指數ノ平均ニ對シテ年々ノ米價率ヲ割リ出シテ、ソコニ或方式ニ依リテ得マシタ率勢米價ト云フモノヲ見出シテ、率勢米價ト云フモノヲ最後ニ算出シマスルト稍、一般物價ノ指數カラ見マスレバ二割以上高イ點ニアルヤウニ思ハレマス、斯様ナ率勢米價ト生産費ト兩方睨ミ合セマシテ、此間ニ適當ナル買上ゲノ場合ニ於テハ、生産費ト下ノ二割トヲ合シテ行キマスルト、缺點ト申シテ……學理上カラ申シマスレバ種々ナル缺點モアルデアリマセウガ、達觀シマシテ大體ノ上カラ見マシテ農家ノ爲ニモ、農村ノ

衰退ヲ來スヤウニ參ラズ、消費者ノ生活ヲ著シク脅カス場合ガナイト云フ大體ノ目安デ、此新ナル改正デ參ッタ方ガ、時ノ當局者ガ自ラノ裁量ニ依リテ米穀法ヲ出動スル場合ニ比ベマスレバ、相當茲ニ公正ナル活動ガ出來ル、是ガ改正ノ主ナル趣意ト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○男爵今枝直規君 只今ノ大臣ノ御懇篤ナル御説明ヲ拜聽イタシマシテ、米穀法ノ御改正ノ趣旨ハ分リマシタ、併シ私ハ考ヘマスルニ如何ニ善美ナル法律案ヲ作りマシテモ、其運用ガ十分デナイト云フト到底其完全ナル目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、ソコデ只今マデノ法律ニ依リマシテ、其結果ガドウカト申シマスルト云フト、此運用ノ幾分拙イト云フ點モ多々アルト私ハ思ヒマス、例ヘテ申シマスレバ其發動ノ時期ニ於キマシテ買フベキ時ニ躊躇シテ後レテ買ウ、又賣ルベキ時ニ賣リマセヌデ、徒ニ其米ノ品質ヲ損シマシテ、或ハ蟲損トナリ色ミ段ミ惡クナッテ來ル、サウシテ買入レノ時ニ比ベマシテハ、遙カニ安い値段デ賣ラナケレバナラヌト云フコトニナルコトハ往々アルヤウニ承ハッテ居ルノデアリマス、又ソレヲ外國ニ出シマスルニシテモ、運賃ニモナラヌヤウナ値段デ賣ラ

ナケレバナラヌト云フヤウな場合モアルヤウニ聞イテ居ル、尙ホ又發動ノ秘密ガ外部ニ洩レマシテ、其時期ヤ値段ガ直ダ分テ其間ニ所謂惡イ「ブローカー」ノヤウナモノガ間ニ介在シテ、豫期ノ成績ヲ擧ゲルコトガ出來ナンダヤウナコトモアッタヤウニ聞イテ居リマス、其他農會ヤ産業組合ニ委セマシテ、細心ノ注意ヲ怠ルト申シテハ甚ダ語弊ガアリマスルガ、幾ラカ手控ヘガアッタガ爲ニ、拙イ結果ヲ招イタト云フコトモ承ハッテ居リマス、世間デハ是ハ政黨ノ食ヒ物ダト申シマスレドモ、私ハ左様ナコトハ思ヒマセヌ、其他私ハ色ミ聞イテ居リマスルガ、此處デ詳シク申上ゲルコトハ致シマセヌ、當局ハ其事實ヲ御調べニナリマシタノデゴザイマスカ如何デゴザイマスカ、御所見ヲ承ハリタイ

○國務大臣(町田忠治君) 御尋ネノ點ハ私ハマダ或ハ了解ノ出來マセヌ所アルガ爲ニ、御満足ヲ得ルヤウナ御答ノ出來ヌ所モアリマセウト思ヒマスルガ、最早政府ノ發動スベキ場合ニ適當ノ發動ヲシナカッタ爲ニ、時期ヲ失シテ之ガ爲ニ效果ガ擧ラナカタト世ノ中ニモ議論ガアルヤウニ、又發動スル場合ニ或ハ其秘密ガ洩レルト云フコトノ爲ニ、效果ガ薄クナルヤウナ意味合ノ御

尋ネモゴザイマシタガ、私ノ前後三年足ラ
ズノ此問題ニ直接經驗イタシマシタ所ニ
ハ、政府ガ最早米ヲ買ハナケレバナラスト
云フヤウナ事情ノ時ハ、政府ノ見方モ民間
ノ見方モ稍、一致ト申シテハ如何カ知ラヌ
ガ、稍、考ガ同ジ時デアリマス、民間ノ豫
想ニ反シテ政府ガ突如トシテ米ヲ買ウト云
フ場合ハ、從來ノ經驗ニ於デアリマセヌ、
又政府ガ米ヲ賣ルト云フ場合モ、昨年ノ整
理賣却デ百万石ヲ賣リマシタガ、矢張り民
間ニモ米ガ無クテ其ノ當時ハ七百万石ノ七
月、八月ノ間ニ在米ガアリマシタ、其中ニ
ハ三百万石位ハ政府ノ手ニアッテ、全國デ三
百万石、乃至四百万石ヨリ米ガナイト云フ
爲ニ、一時米ガ三十圓、三十一圓ト上リマ
シテ消費者階級ガ困ルト云フヤウナ空氣ガ
出マシタ時ハ、世ノ中デモ政府ガ米ヲ賣ル
ベキ時ダト申シマスシ、又私共モ亦左様ナ
場合ニハ整理賣却等ノ方法ニ於テ賣出サナ
ケレバナラスト云フ考ガ出マスカラ、政府
ノ米穀法發動ノ場合ハ、大體ニ於テ常識カ
ラ考ヘテ民間ト政府ノ考ガ似テ居リマスガ
故ニ、民間ノ希望セヌ場合ニ參ルコトハ、
左様ナコトハ多クハナイト思ヒマスガ、其
效果ノ十分デアリヤ否ヤハ民間デモ世評ガ
アリマスガ、唯サウ云フ場合ニハ政府ガ發

動セナカッタ場合ト發動シタ場合トノ比較
ヲシテ、矢張り發動シタ方ガ相當ノ效果ガ
アッタ、斯様ニ見ルノ外ハゴザイマセヌ、ソ
レカラ米穀委員會ヲ開キマシテ公ケニ相談
イタシマスルカラ、凡ソ政府ガ買ヒマスル
場合ヲ申シマスレバ、民間デモ政府ガ買フ
ダラウト云フ考カラ、定期市場ニモ多少現
ハレルコトモアリマス、併シ是ハ大抵御承
知ノ通りノコトデアリマスガ、民間デ凡ソ
想像シマシテ歷代ノ内閣ハイツデモ米ノ間
題ニ對シテハ、秘密ガ漏レルト云フコトヲ能
ク新聞ニ謳ハレルノデアリマスガ、私共ノ
方ノ取調ベニ依リマシテハ稍常識カラ政
府ノ發動ノ場合ヲ想像シテ、ソレガ常識判
斷ニ於テ事實ニ當テ居ル場合ガ多イノデア
リマスルガ故ニ、左様ナ問題ガ出來ル場合
ガ多イト思ハレマス、例ヘバ米作ノ收穫ノ
豫想ナドト云フコトニ對シテハ、イツモ農
林省ノモノガ漏レタト云フコトガアリマ
ス、調べテ見マスト各府縣ガ自分ノ縣ハ是
ダケノ收穫ガアルト云フコトヲ新聞記者ア
タリニ言フラシイ、或新聞社ガ全國ニ於キ
マシテ其數字ヲ得マシテ、ソレヲ集計シテ
現ハレテ來ルノデアリマスカラ、稍、似タ
數ヲ生ズル、似タ數ガ玆ニ新聞ニ依ッテ先ヅ
發表サレル場合ガアル、ソレカラ米ノ價格

ノ幾ラデ買フカト云フコトノ秘密ハ、前申
ス通り法律ニ於テ正米市場ノ中米ヲ標準ト
シテヤルト云フコトハ明カニナッテ居リマ
スルガ故ニ、此點ニ對シテハ從來ハ餘リ世
間カラ非難ノアルベキ道理ガナイ程明カナ
標準ガ備テ居ルノデアリマスルノデ、其方
ノ餘リ非難ヲ承ハッタコトハアリマセヌガ、
米ノ問題ニ付キマシテハ相場師アタリガ色
色ナコトヲ宣傳ヲシテ材料トスルコトガ、
當局トシテハ常ニ難儀ヲ致シテ居ル點デ
アリマス、其點ハ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○男爵今枝直規君 次ニ伺ヒタイノハ政府

ハ朝鮮臺灣ニ通ジテ米穀法ヲ施行サレルカ
ドウカト云フコトデアリマスルガ、併シ是
ハ私ハ實ハ考ヘ違ヒデハアリマセヌ、承ハリマスル
ヤ考ヘ違ヒデハアリマセヌ、承ハリマスル
ト云フトソレハ臺灣朝鮮ニハ施行セラレヌ
ト云フ御考デアルト云フコトヲハッキリ衆
議院ノ方デハ仰シヤッタト云フコトデアリ
マスカラ、ソレハ私ハ伺ヒマセヌ、然ラバ
セメテ此朝鮮カラ參リマスル此移出ニ對シ
テハ、十分ノ制限ヲシナケレバ到底此内地
ノ米價ヲ維持スルト云フコトハ困難カト思
ヒマス、即チ昨年ハ内地ガ豐穰ノ所ヘ朝鮮
カラモ豐穰ノ爲ニ大變ニ平年ヨリモ四百万

石モ餘計ニ來タト云フコトデアリマス、ソ
レガ爲ニ内地ノ市場ヲ非常ニ混亂セシメマ
シテ、一時二十圓ノモノガ十八圓ニナリ、
十七圓ニナッタト云フヤウナコトモ聞イテ
居リマスルガ、朝鮮ニ對シテ其移出ヲ制限
スルト云フコトニ付テ、政府ノ方デ朝鮮總
督府ノ方ニ御交渉ニナッタト云フコトヲ聞
イテ居リマスガ、總督府ノ方デハ何カ統治
上ノ障害ガアルトカ云フヤウナコトデ、其
交渉ガ圓滿ニ行カナイト云フコトヲ聞キマ
シテ、私共甚ダ殘念ナコトト思ッテ居リマ
ス、其邊ノ事情ヲ御差支ナイ限り承ハリタ
イト思フ

○國務大臣(町田忠治君) 只今ノ御質問ガ

米穀法ノ運用ニ對シテ最モ困難ヲ感ジテ居
リ、又米穀法運用ノ效果ニ於キマシテ之
ガ爲ニ效果ノ幾分カ減ゼラレテ居ルト思
ハレルノデ、私共一番重大ナ問題ト考ヘテ
居ルノデアリマス、如何ニモ只今仰シヤル
通り米穀法ノ上ニ於テ、私共ノ最モ苦慮イ
タシテ居リマスルノハ、朝鮮米ノ内地ニ移
入シテ參リマスル爲ニ生ズル所ノ供給ノ過
剩、之ニ依ッテ内地米ガ壓迫サレテ、言葉ハ
少シ強クアリマスガ、之ニ依ッテ内地米ノ暴
落ト申シテモ宜イ程ノ米價ノ上ニ非常ナル
影響ヲ及ボシテ居ルノハ、私共モ米穀政策

運用ニ於テ最モ苦心イタシテ居ル所デアリマス、甚ダ失禮デアリマスガ、此成行キヲ搔摘マシテ今枝サン竝ニ他ノ委員諸君ノ御方ニ併セテ御願ヒシタイノハ、米穀調査委員會ニ於キマシテモ朝鮮米ニ對スル問題ガ一番ヤカマシイ問題ノ一ツデアリマス、帝國農會アタリヲ代表スル委員ハ、朝鮮カラ内地ニ入ル米ガ或制限ヲ受ケテ……、内地ニ相當數量ノ收穫ニ依ッテ數量ガアルニ拘ラズ、朝鮮カラ無限ニ入ッテ來ルト、之ガ爲ニ内地ノ米價ヲ下落セシメ、更ニ朝鮮ノ米モ安クスル、朝鮮ノ租税ノ關係、或ハ血税ノ關係等カラ言フテ朝鮮ノ米ガ安クモ出來ル、勞働モ安イ、ソコデ作ッタモノヲ内地ニ無限ニ入ラレルニ依ッテ、内地ノ農民全體ガ非常ナル不利益ヲ受ケルカラ、或制限ヲ置ケト云フ議論モアリマシタ、併シ御話ノ通り朝鮮統治ノ上カラ、朝鮮カラ入ル米ヲバ數量ヲ制限スルト云フコトハ、相當考ヘナケレバナラヌ問題トシテ、直ニ之ヲ實現スル譯ニハ行カスト云フヤウナ委員會多數ノ意見デアアル、殊ニ先年產米計畫ヲ十五箇年間ニ朝鮮デ立テ特別ナル豫算ノ下ニ之ヲ遂行シテ居ル、重モナル原因ハ内地ノ人口ニ伴フ内地ノ食糧ガ供給之ニ伴ハヌカラ、先ヅ朝鮮ノ產米計畫ヲ進メテ供給ヲ朝鮮ニ

仰グト云フコトガ、矢張り人口食糧問題ノ大計畫ノ本ト相成ッテ居ルノデアリマス、ソコデ困リマシタコトハ一昨年マデハ朝鮮カラ平均五百萬石ト御覽下スッテ宜シウゴザイマセウ、ココ數年間ガ五百萬石入ル、臺灣カラ二百萬石乃至二百二十萬石入ル、内地デハ五千九百七十萬石ヲ五箇年ノ平均ト致シテ立テテ居ル、ソレガ入リマシテモ未ダ尙ホ内地デハ食糧問題ガ解決シナイガ爲ニ、二百萬石乃至三百萬石ノ外米ヲ常ニ輸入スルコトヲ必要トシテ居ル國デアアル、茲ニ一ツノ矛盾ガ生ジマシテ、昨年ノ如キハ只今御話ノ如ク例年朝鮮カラ入ル米ヲ千五百萬石ト致シマスト御話ノ通り四百萬石以上ニ多ク入ル、内地ニ於テハ、六百八十萬石平年作ヨリ多イ、茲ニ當テ千萬石多ク出來マスルガ爲ニ、外米ヲ全部入レナイコトトシテモ、朝鮮カラ入ル米ヲ相當ニ調節シナケレバ茲ニ千萬石ノ先ヅ過剩米ガ生ズル、其中當年ノ端境期ニ六百萬石持ッテ行クトシテモ、彼此レ五百萬石ト云フ米ヲ何トカ處分シナケレバ、米價ノ大暴落ヲ來スト云フ困難ナ事情デアアル、併シ衆議院デモ申シマスガ、此問題ハ大問題デアリマスガ故ニ、拓務大臣、大藏大臣、農林大臣ト總理大臣ガ協議ノ上ニ朝鮮カラ入ル米ハ月々調

節スル、先ヅ以テ經濟的施設ニ依ッテ之ヲ調節シテ一時ニ内地ニ殺到シナイヤウニシテ、内地米ノ暴落ヲ防グコトヲ第一ノ手段ト致シテ居リマス、併シ經濟施設、即チ倉庫ヲ造ルトカ、低利資金ヲ與ヘテ、一時ニ内地ニ入ッテ來ルコトヲ防グト云フ經濟施設ダケデ目的ヲ達シ得ラレヌ場合ニハ、更ニ法制ノ力ニ依ッテ今日マデ現ハレテ居ル弊害ヲ救フト云フコトノ大體ノ方針ハ決メマシタガ、マダ如何ナル法制ニ依ッテヤルカト云フコトノ結論ニハ達シテ居ラズ、只今ハ經濟施設ダケデヤッテ居ル次第デアリマス、諸テ經濟施設ダケデ參ラスト云フ時ニハ法制ノ力ヲ必要トシマスガ、其場合ニハ或ハ朝鮮ニ於テモ一種ノ米穀法ヲ、朝鮮内地ニ作ルコトモ一ツノ方策ト考ヘ得ラレルト思フノデアリマス、或ハ朝鮮、臺灣等ノ植民地ノ食糧問題ヲ全部總督府ヲ中心トセズ、内地、朝鮮、臺灣ヲ統一シタル上ニ於テ米穀政策ヲ立テル、即チ農林省ガ中心トナッテ朝鮮、臺灣マデモ合シタ米穀政策ヲ立テルト云フコトモ一ツノ考ヘ方デアアル、斯様ニ見テ居リマスガ、只今ノ所ハ經濟施設ニ依ッテ内地ニ殺到スルコトヲ防グコトニ致シ、此米穀法ノ立テ方ハ調査會ニ於テハ内地ノ方ノ調節ヲ主トシテ、朝鮮、臺灣ハ

此米穀法ニハ入ラヌ意味ヲ以テ、調査會デハ御答申ニ相成ッテ居リマス、斯様ナ順序デアリマス

○男爵今枝直規君 只今段ミ承ハリマシテ能ク了解イタシマシタ、朝鮮ニモ目下ノ所ハ此米穀法ハ行ハヌガ大臣ノ御意思ハ、矢張り將來今アリマスモノニ似寄ッタモノデモ朝鮮ニ作り、朝鮮ノ米穀需給ノ關係ヲ圓滿ニスルコトハ朝鮮人ノ生活ヲ安定スルバカリデナク、内地ハ參リマスル米ヲ制限スルト云フ色ミノ效果ガアル、是ハ左様ナコトハ十分心配シテ居ルト云フコトデアリマシタ、誠ニ私ハ結構ナコトト思ッテ居リマス、私ハ實ハマダ伺ヒタイコトモアルノデアリマスケレドモ、今日ハ是デ止メマス

○子爵片桐貞夫君 先程伺ヒマシタ續キヲチヨット伺ッテ置キタイノデスガ、第一回ノ買入、第二回ノ買入ノ時期ニ付テ、其間ノ米ノ價格ト云フモノガ、大シテ此買入ノ爲ニ酷イ影響ハ起ッテ居ラナイデ、或場合ニ於テハ却ッテ下ッタヤウナコトヲ聞及ンデ居ルノデアリマスガ、先程伺ヒマシタ所ニ依リマス、第二回ノ買入ヲシタ時ニハ豫定ノ石數ガ買入レルコトガ出來ズシテ、或期間ヲ置イテ第三回ト申シマスガ、第二回ノ續續カモ知レマセヌガ、御買入ニナタト云フ

狀況ニ付キマシテハ、何カソコニハ原因ガアルノデハナイカト云フコトヲ考ヘラレルノデアリマスガ、私ナンカノ聞及ビマス上ニ於キマス、第二回ノ買入ヲセラレル時ニ於テハ農家ノ米ヲ持ッテ居ル者ハ、ソレヲ出スノヲ非常ニ嫌ガッタヤウナ傾向ガアルノデハナイカト云フコトモ、チヨット聞及ンデ居リマスガ、ソレ等ノ狀況ハドンナ狀況デアリマスガ、之ヲ伺ヒタイト思フ、今朝鮮米ノコトニ付テ……、實ハ私モ之ニ關聯シテ伺ヒタイト思フ、テ居ッタノデスガ、御質問ガアリマシテ、ソレニ對スル御説明ヲ得マシテ分リマシタガ、今日ノ時期ニ於テ、茲デ朝鮮米ガ入ッタ場合ニハ、或程度安定シタノガ、又グット下ッテ第三回、第四回ノ買入ヲシナケレバナラスト云フコトガ起ッテ來ナイカ、目下ノ所ニ於テ朝鮮米トノ御交渉ハドウ御アリニナリマスガ、ソレ等ノ邊モチヨット伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君) 片桐子爵ノ御尋

ニ對シテ先ツ第一カラ御答ヲ申上ゲマス、第一ノ御尋ハ、第二回ノ買入ガ十分ニ豫定ノ數量ニ達シテ居ラナカッタノハ農家ガ手離スコトヲ嫌ガッタト云フ事情ガアリハセヌカト云フ御尋デアッタヤウニ承ハリマシタガ、是ハ私共ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、

農家ガ私共ノ役所デ公表ヲ致シマシタ買入價格、即チ米穀法令ズル所ノ時價ヲ以テ買上グベシト云フ時價、其發表イタシマシタ價格ヲ以テ満足ヲ致シマセヌ地方ガ多少アッタヤウデゴザイマス、其地方ニ於キマシテハヨリ以上ノ値段デ以テ賣リタイト云フ考ヲ持ッテ居ッタ、賣リタクナイト云フコトニ之ヲ考ヘルコトモ御話ノヤウニ出來マスカト存ジマスガ、寧ロ賣リタイコトハ賣リタイケレドモ、モット高い値デ賣リタイ、斯ウ云フヤウナ氣持ガ強カッタヤウナ點ガアッタヤウニ承知シテ居リマス、併ナガラ其他ノ地方ニ於キマシテ、第一回ノ買入ヲ以チマシテ相當ノ數量ヲ此地方カラ取ッテ、既ニ政府ニ取入レテシマッタト云フヤウナ地方ガアルノデアリマス、御承知カト存ジマサルガ、今回ノ第一回ノ二百万石ノ買入モ、第二回ノ百万石ノ買入モ、大豐作ノ結果、各地方ノ要望ト云フモノガ買入數量ヲ府縣ニ相當公平ナ基礎ノ下ニ割當テ買ッテ吳レ、斯ウ云フ要望ガ非常ニ多クアッタノデアリマス、ソレデ從來ハ米穀ノ事務所ヲ中心ト致シマシタル買入場所ニ於キマシテ、各銘柄ノ米ノ値開キヲ公告ヲ致シマシテ、時價ヲ以テ買上ゲル、斯ウ云フコトニシテ居ルノデアリマスガ、ドノ府縣ノドノ

邊ノ產米ヲ幾ラ買上ゲルト云フ割當テハ少シモ致シマセヌガ、今回ハソレヲ致シタノデアリマス、ソレハ地方ノ要望ガ從來ハ、買入レ事務所ノアリマスル府縣、若クハ其近クノ府縣ト云フヤウナ所ガ、買上ゲ應募ニ慣レテ居ル府縣ガ數府縣デ以テ殆ド買上ニ應ジテシマフト云フヤウナ事情ガアッタノヲ、ソレデハ困ルカラ各府縣ニ割當テテ吳レト、斯ウ云フ議論ガヤカマシイノデ割當テマシタ、其割當ハ縣内ノ生産額ハ縣内ニ於ケル生産者ガ自家消費ヲ致ス分デアリマセヌデ、販賣ヲ致シマスル數量、ソレカラ縣外ニ、販賣米トシテ縣外ニ移出ヲサレラ數量、此三ツヲ基礎ト致シマシテ割當テラ致シマシタノデアリマス、サウ致シマスト云フト、縣外ニサウ澤山出シマセヌデ、生産ハ相當イタシマスガ、大體縣内デ以テ消費ヲシテシマウト云フヤウナ府縣ニ於キマシテハ、第一回ノ二百万石ノ買上ゲノ割當ヲ應募ヲ致シマシタ爲ニ、最早其動カスベキ米ガ少クナッタト云フヤウナ地方ガアルノデアリマス、サウ云フ地方モアリマシテ、旁、是等ノ地方ハ應募ヲ致ス數量ガ少カッタ、其結果先程申上ゲマシタヤウニ二十五万七千石ト云フモノガ第二回ノ分ニ付テハ不足ヲ生ジタ、斯ウ云フ譯デアリマス、

此二十五万七千石ト云フモノハ追加的ニ三月ノ五日カラ九日マデノ間ニ買上ゲヲ致シタノデアリマスガ、是ハ今度ハ府縣割當ヲ致サズニ、各事務所デ以テ買上ゲヲ致シタノデアリマス、サウ致シマスト云フト、是ハ忽チニ應募ヲ見タ譯デアリマス、而シテ第二回ト追加的ニ行ヒマシタ第三回トノ買入價格ハ動カサズニ、而モ時價ガ餘リ動イテ居リマセヌカラ、動カサズニ同ジ値段ヲ以テ買入レタノデアリマスガ、追加買入デ以テ滿額ニナリマシタ、斯ウ云フ事情デゴザイマス、ソレデ第二回ノ買入價格ト云フモノニ付テモット高く買ッテ貰ヒタイト云フ希望ヲ有ッテ居リマスル府縣ガアルト云フコトモ申上ゲテ置キマシタガ、ソレハ色ニ生産者ノ方ノ統制ガ取レテ、成ルベク米ヲ持ッテ居ラウヂヤナイカト云フヤウナ申合セガ付イタ所モゴザイマスヤウニ思ヒマスガ、所謂產地高ノ府縣ガアッタノデアリマス、其米ヲ平常時ニ於キマシテ集散ヲスル大市場、其處ニハ買上事務所ヲ設ケテ居リマスガ、其處ノ市場ニ於キマスル標準中米ト云フモノトノ格差ヲ、平常ノ場合ニ於テ見マスルヤリ方デ見マスルト云フト、逆モ其當時ノ產地ノ値段ヲ以テハ買上ゲルコトハ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ高い値ニ保ッテ

居ヲト云フヤウナ事情ノ縣ガアルノデア
リマス、サウ云フ縣ハモット高ク買、テ貰ヒ
タイ、斯ウ云フコトノ爲ニ應募ヲ致サナカッ
タト云フ事情ハ所ニ依、テハアリマスマヤウ
ニ承知ヲ致シテ居リマス、ソレガ御質問ノ

第一ノ方ニ對シマスル事情ヲ申上ゲマシタ
譯デゴザイマス、ソレカラ第二ノ朝鮮米ニ
對シマスル經濟施設ヲ以テノ一時的殺到ヲ
防止ヲスルト云フ施設デゴザイマスガ、是
ガ段、先キニナッテ出テ來ヤシナイカト云
フ處レ、是ハ御話ノ如クニ決シテナイト云
フコトハ申サレナイノデアリマシテ、既ニ
今日ニ於キマシテハ大分又出廻ハッテ參、テ
來テ居リマス、新聞紙ノ傳フル如ク大分近頃
移入ハ増シテ參、テ來テ居ルト云フ事情デゴ
ザイマス、ソレデ私共ハ今後ノ鮮米ノ内地
ニ移入セラレルコトハ、相當注意スベキ、
警戒スベキコトデアルト考ヘテ居リマス、

唯本年ハ御承知ノ通りニ内地、朝鮮共ニ未
曾有ノ大豐作デゴザイマスルカラ、前年度
ノ同期ニ比較イタシマシテ段々増加ヲ致シ
テ、移入米ガ増加ヲ致シテ居ルト云フコト
ハ、是ハ或程度ハ已ムヲ得ヌカト思ヒマス
ルガ、ソレガ一度ニ非常ナ勢ヲ以テ入、テ來
ルト云フコトニ相成リマスルト云フト、其
結果ガ或ハ今日保、テ居リマスル市價ヲ更

ニ落スト云フヤウナコトニ相成リハシマイ
カト云フコトヲ處レテ居リマス、其場合ニ
於キマシテハ米穀法ト致シマシテ、相當更
ニ出動ニ付テ考慮ヲ致サナケレバナラヌコ
トニ相成リハシマイカト思ヒマス

○子爵片桐貞夫君 只今伺ヒマシタガ、朝
鮮ノ米ノコトデゴザイマスガ、現在此米穀
法ガ發動スルカシナイカト云フ時期ニ於
テ、朝鮮米ノ入、テ來ルカ入、テ來ナイカト
云フコトハ餘程影響スルモノト思ヒマス、
ソレハ御考慮ニナッテ居ラルルコト存ジ
マスルガ、是ハ目下ノ所デハ之ヲ或程度防
イデ置クトカ、何カソコニ對シテ御對策ガ
御有リニナルノデゴザイマセウカ、又朝鮮
總督府ニ於キマシテモ、内地ノ此事情ヲ鑑
ミテ何カ考ヲ有、テ居ラレテ、或程度ノ移入
ハ防グト云フコトヲ講セラレル途ガアルノ
デゴザイマセウカ、如何デスカ

○政府委員(石黒忠篤君) 朝鮮總督府ノ方
ニ於キマシテモ、先程農林大臣カラ申上ゲ
マシタヤウニ、本年ハ取敢ヘズ出來ルダケ
早ク米穀保管ノ設備ヲ拵ヘルト云フコト
ニ、經費モ支出ヲ致シテ努メテ居リ、又低利
資金ノ供給モ致シマシテ保管ヲ獎勵ラシテ
居リマスル事情デアリマスガ、ソレノ保管
ノ期間等ガ段々時期ガ參リマスト云フヤウ

ナ事情ニ迫、テ來テ居ルノデアリマスガ、内
地ノ米價ノ事情ハ御承知ノ通りデアリマス
ガ爲ニ、總督府ニ於キマシテモ成ルベク此
際ニ又一度ニヤッテ來ルト云フヤウナコト
ノナイヤウニ、保管ヲ繼續セシムルト云フ
ヤウニ致シタイ、總督府ニ於テモ種々努メ
テ居ルト承ハッテ居ルノデアリマス、ソレノ
詳細ハ拓務省ノ殖産局長ガ見エテ居リマス
カラ其方カラ申上ゲマス

○子爵片桐貞夫君 私ノ承ハリタイノハ現
在ノ此狀況ガ、所謂米穀法ノ發動スルカ
シナイカノ境ニアルヤウナ狀況デアル時
ニ、朝鮮米ガ餘計入、テ參リマスレバ、明日
デモ明後日デモ假ニ入、テ參リマスレバ、是
ハ非常ニ影響ヲスルドラウト思ヒマス、其
極ク近イ時ニ於テ、近イ時ノ御對策ハ朝鮮
總督府ト農林省トノ方デ、何カ御交渉デモ
アルノデアリマスサト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(石黒忠篤君) 朝鮮總督府ト直
接ニ此點ニ付キマシテハ交渉ハ致シテ居リ
マセヌケレドモ、拓務省ノ方ト常ニ聯絡ヲ
取りマシテ、出來ルダケノ方策ヲ講ジテ居
リマス譯デアリマス、但シ朝鮮ノ方ニ於テ
ハ米穀法ニ當ルヤウナ形ニ、直接ニ買上ゲ
ヲスルト云フヤウナ施設ヲ有、テ居リマセ
ヌ爲ニ、繰返シ申上ゲマスガ、保管ノ獎勵

ト云フコトニ依、テ出來ルダケ保管ヲ繼續
セシムルコトヲ慫慂シテ居ルト云フコトニ
相成、テ居ルノデアリマス

○政府委員(殖田俊吉君) 朝鮮米ノ對策ニ
付テ私カラ御答ヘ申上ゲマス、是ハ少シ長
ク相成リマスガ、沿革カラ申上ゲマシテ、
今日ノ對策ニ付キマシテ御了解ヲ願ヒタイ
ト存ジマス、即チ朝鮮米ニ對シマスル問題
ト致シマシテハ、今年ノ大豐作ニ對シマス
ル應急ノ施設ト、ソレカラシテ常時ノ、年
年朝鮮米對内地米トノ關係ニ對スル施設
ト、此二ツニ分レテ居ルヤウナ次第デアリ
マス、其大體ニ付キマシテ先頃御參考ニト
存ジマシテ、朝鮮ニ於ケル米穀倉庫竝ニ米
穀問題應急對策綱要ナルモノヲ極ク簡單ニ
印刷ニ付シマシテ御手許ニ差出シテアリマ
ス積リデゴザイマス、便宜ノ爲メ先ヅ今年
ノ應急對策ノコトハ第二ニ致シマシテ、常
時ノ對策ニ付テ大體御説明ヲ申上ゲタイト
思ヒマスガ、ソレハ一昨年此米穀調查會ノ
開カレマシタ時ニ於キマシテ、米穀調查會
ニ於キマシテモ朝鮮米ノ問題ガ始終論ゼラ
レマシタ、併ナガラ色々論究ノ結果朝鮮カ
ラ内地ハ入、テ參リマスル米ハ、全體トシテ
見マスレバ大體内地ノ不足ニ適合イタシテ
居リマシテ、過剰ノ米ガ入、テ來ルト云フ譯

デハナイノデゴザイマス、然ルニ内地ガ朝鮮
米ヲ殊ニ苦ニ致シマスルノハ、考ヘテ見マ
スト云フトソレハ朝鮮ニ於テハ、内地ニ於
テモ左様デアリマスガ、出来秋ニ生産者ガ
手放スト云フ傾向ガ著シイ、是ハ朝鮮ノ經
濟事情、社會事情其他ノ關係ニ依ルモノデ
アリマシテ、内地ニ於テモ出来秋ニ一時ニ
生産者ガ手放スコトノ傾向ハ無論アルノデ
ゴザイマスガ、朝鮮ニ於テハ其傾向ガ最モ
著シイ、從テ一時ニ内地ヘヤッテ來ル、朝
鮮ノ産米ハ内地ノ必要ニ依ッテ來ルノデア
リマスルガ、ソレガ出来秋ニ一時ニヤッテ
來ル、是ガ内地ヲ壓迫スル所以デアル、殊
ニ朝鮮産米ハ御承知ノ如ク中央市場ニ參リ
マスノデ、從テ此内地ノ出来秋ニ生産地カ
ラ出テ參リマスル米ニ比較シテ少イ數量デ
アルニモ拘ラズ、取引所ニ於ケル相場ニ影響
スルコトガ一層力強イ、斯ウ云フ關係モア
リマスノデ、朝鮮米ノ内地ニ一時ニ殺到ス
ルト云フコトヲ何トカシテ防ガナケレバナ
ラス、之ヲ實際ノ數字ニ徴シマスルノニ、
毎年米穀年度ノ始マリマスル十一月カラ致
シマシテ十二月、一月、二月此四箇月間ヲ

スル全數量ノ五割ガ此四箇月ニ來ル、後ノ
八箇月間ニ其残りノモノガ參ル、數量ヲ申
シマスレバ此三箇年ノ實蹟ハ約四箇月間ニ
三百萬石内地ヘ送ッテ居リマス、若シ之ヲ月
別平均的ニ來ルモノト致シマスレバ年間約
六百萬石、月別約五十萬石、從テ此四箇月
間ニ於テハ二百萬石デ濟ムノデアリマスル
ガ、ソレガ事實ハ三百萬石參ッテ居ル、詰リ
百萬石超過シテ參ッテ居ル、百萬石ダケ餘計
ニ參ッテ居ル、之ヲ何トカシテ此年ノ二
月以降ニ延期セシムルコトガ出来ルナラバ
大體月別平均ニ來ルヤウニナリハシナイ
カ、サウスレバ朝鮮米ノ内地壓迫ノ問題ハ
餘程緩和サレルニ相違ナイ、斯ウ云フ考ニ
相成リマシタノデアリマス、所ガ朝鮮ニ於
テハマダ米穀法等ガ行ハレテ居ル譯デハア
リマセヌ、又内地ノ如ク農業倉庫等ガ普及
イタシテ居ル譯デハアリマセヌ、ソコデ今
ノ超過イタシマシタ百萬石ヲ朝鮮ニ喰止メ
ヤウト致シマシテモ事實上設備ノ點カラモ
非常ニ困難デアル、又無論朝鮮ノ農民モ經
濟的、社會的ノ力等ニ付キマシテハ、非常
ニ困難ガ伴フコトハ當然デゴザイマスガ、
此設備ダケデモ朝鮮ニハ不足シテ居ル、斯
ウ云フコトニ考ヘ及ビマシテ、兎ニ角取敢
ズ此内地ノ農業倉庫ニ類似スル所ノ倉庫ヲ

一ツ生産地ニ普及シヤウ、更ニ又集散地ニ
於キマシテモ内地ノ如ク設備ノ完全ナル立
派ナル倉庫ガ澤山アルト云フ譯デハナイカ
ラシテ、是モ相當ナ設備ヲ設ケヤウ、爾カ
致シマシテ是等ノ貯藏設備ガ出来マシタナ
ラバ、此貯藏設備ニ米穀ヲ貯藏イタシマス
ルモノニ對シテハ低利ノ資金ヲ供給イタシ
マシテ、無理ヲシテ一時ニ持米ヲ手放スト
云フコトノ不利益ヲ免レシメヤウ、斯ウ云
フ風ナ考ヲ以チマシテ茲ニ米穀倉庫計畫ナ
ルモノヲ樹立イタシマシタノデアリマス、
是ハ朝鮮總督府ニ於キマシテ朝鮮米ノ内地
ヘ參リマスルコトヲ月別平均ナラシメル爲
ニ行ヒマスル施設トシテ、第一著手ニ立テ
マシタ計畫デゴザイマス、是ハ内地ノ農民
ガ朝鮮米ノ一時ニ殺到イタシマスル苦痛ヲ
免レマスルノミナラズ、朝鮮ノ農民ト致シ
マシテモ無理ヲシテ嫌ナ思ヒヲシテ安イ値
段デ賣放スト云フ必要ガナクナリマスノ
デ、朝鮮自體ノ爲ニモ是ハ非常ナ有益ナコ
トデアル、斯ウ云フ考デゴザイマシテ、此
計畫ニ要シマスル費用ノ如キモ、只今デハ
全部ヲ朝鮮總督府自カラノ負擔ニ於テ實行
イタシテ居ルノデアリマス、其計畫ノ大要
ヲ此際申上ゲマスレバ、目標ト致シマスノ
ハ只今申上ゲマシタ百萬石ノ玄米デアリマ

シテ、之ヲ朝鮮ニ貯藏スル爲ニ米穀倉庫ヲ
造ル、百萬石ヲ入レマス爲ニハ一坪四十石
ヲ入レル倉庫ヲ造ルト致シマシテ、少クモ
二萬五千坪ノ倉庫ヲ必要トスル譯デゴザイ
マス、併ナガラ此二萬五千坪ノ倉庫ヲ一度
ニ造リマスコトハ、財政上カラ申シマシテ
モ其他ノ事情カラ致シマシテモ困難デアリ
マスノデ、朝鮮總督ニ於キマシテハ之ヲ五
箇年ニ計畫イタシマシタノデアリマス、五
箇年間ニ百萬石ヲ收容シ得ル倉庫ヲ二萬五
千坪造ル、斯ウ云フ計畫ヲ立テタノデアリ
マス、其二萬五千坪ノ倉庫ハ然ラバドウ云
フ倉庫デアアルカト申シマス、先程申上ゲ
マシタ通りニ之ヲ二種類ニ分チマシテ、一
種類即チ甲種倉庫ト申シマスルガ、大體是
ハ内地ノ農業倉庫ニ匹敵ヲ致スモノデアリ
マシテ、主要ナル米穀生産地ニ設ケルノデ
アリマス、併ナガラ生産地ニ設ケルノデア
リマスルカラ、極ク小規模ナ倉庫ニ致シマ
シテ、主トシテ此農民ノ爲メノ倉庫トスル、
之ヲ甲種倉庫ト申シマシテ、只今申上ゲマ
シタヤウニ約半分一萬二千五百坪ヲ之ニ充
テ、ソレカラシテ残りノ一萬二千五百坪
ハ即チ乙種倉庫ト申シマス、所謂言ハバ
商業倉庫ニ當ルモノデアリマシテ、是ハ生
産地デナク、米ヲ移出イタシマスル重モナ

ル集散地ニ設置イタシマシテ、比較の大規模ノ倉庫ニ致シマシテ、大體ハ一箇所ニ十萬石ハ收容ノ出來ル程ノ大キナ倉庫ニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ大體一万二千五百坪位造ル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ是等ノ倉庫ハ農業倉庫ニ當リマスル分ハ、多クハ是ハ郡農會等ニ建設イタサセマスノデアリマシテ、相當ニ建設費ノ補助ヲ致サンケレバナリマセヌ、又經營上ノ補助モ當初ハ致サナケレバナリマセヌト考ヘテ居リマス、乙種ノ商業ノ倉庫ニ當リマスノハ、是ハ特種ノ倉庫會社ヲ造リマシテ、ソレニ全體ノ經營ヲサセル、モウ既ニ朝鮮米穀倉庫會社ナルモノガ昨年ノ秋ニ設立サレテ居ルノデゴザイマス、之ニ對シテ矢張り相當ノ補助ヲスル、倉庫ヲ建設イタシマス前ニ、或ハ借入レルコトモゴザイマセウシ、又ハ既ニ存在シマスル倉庫ヲ買收スルコトモゴザイマセウガ、兎ニ角之ニモ補助ヲ與ヘル、サウ致シマシテ補助金ノ合計ガ二百七十三萬圓バカリニナルノデアリマスガ、之ヲ五箇年ニ均分イタシマスト、毎年五十萬圓ツツト相成リマスノデ、既ニ昭和五年度カラ此計畫ヲ實行イタシテ居リマスノデ、昭和六年度ハ第二年度ニ當テ居リマ

ス、既ニ此議會ヲ通過イタシマシタ所ノ此昭和六年度ノ豫算ニ計上イタシテ居リマスノガ、第二年度ノ五十萬圓デゴザイマス、只今申上ゲマシタノガ大體百萬石ヲ調節スル爲ノ倉庫計畫デゴザイマス、然ルニ既ニ御承知ノ如ク朝鮮ニ於キマシテハ、去ル大正十四年以來產米増殖計畫ナルモノヲ實行イタシテ居リマシテ、著々進行イタシテ居ルノデゴザイマス、其計畫ニ依リマスレバ、大體昭和十五年ニ相成リマスレバ、八百二十萬石ノ米ガ今日ヨリモ朝鮮ニ増産サレルコトニ相成リマシテ、其中デ約五百萬石ト申シマスルモノハ、今日朝鮮カラ内地ヘ這入テ居リマス米ニ加フルニ、ソレダケノ數量ガ内地ニ這入ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、デアリマスルカラ、之ニ對シテモ豫メ準備ヲ致シテ置ク必要ガアルノデアリマシテ、大體此五百萬石ヲ月別平均的ニナラシムル爲ニハ、只今申上ゲマシタヤウナ方法ニ依リマシテ、百五十萬石ヲ藏置スル設備ヲ必要トスルト云フコトニ考ヘマシテ、是ハ乙種倉庫所謂商業倉庫ナルモノヲ全然除キマシテ、全部農業倉庫ニ致シマシテ、朝鮮全鮮ニ亙リマシテ各生産地ニ之ヲ普及セシメマシテ、約三萬七千五百坪ノ倉庫ヲ造テ行ク、併ナガラ是ハマダ產米増殖

計畫ガ進行中デアルノミナラズ、マダソレ程成績ヲ示シテ居ラヌノデアアルカラ、只今申上ゲマシタ大體第一期計畫ナルモノガ五箇年ヲ以テ終了イタシマシタラバ、其後デ第二期計畫ト致シマシテ十年間ノ計畫ヲ以テ、此期限ヲ以テ計畫イタサウ、斯ウ云フ計畫ヲ立テテ居リマスノデゴザイマス、サウ致シマシテ是等ノ倉庫ニ對シマシテハ、第一期計畫ニ依リマスモノモ、或ハ甲種倉庫ニ依リマスモノモ、乙種倉庫ニ依リマスモノモ、更ニ又第二期計畫ニ依リマスモノモ、總テ是ハ低利資金ヲ融通イタシマシテ金融ノ便益ヲ圖ルト云フ立前ニ致シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ只今申上ゲマシタ當時對策ガ立チマシテ、既ニ昭和五年度カラ開始シ、昭和六年度ハ將ニ其第二年度ニ這入ルコトニナテ居ル丁度此際ニ於キマシテ、非常ナル豐作ニ際會イタシマシタノデアリマス、御手許ニ差上ゲマシテゴザイマス朝鮮ニ於ケル農業概況竝ニ米及雜穀ニ關スル調ト云フモノガアリマスガ、其中ニモ實ハ書イテ置キマシタノデアリマスガ、此數年來昭和元年カラ五年マデノ朝鮮カラ内地ヘ這入リマス米ノ數量ヲ見マスノニ、大抵五六百萬石程度ヲ往來イタシテ居タノデアリマスガ、今年ハ非常ナ豐作ノ爲ニ、

少クモ八百萬石ノ米ガ内地ヘ參ルデアラウト云フ計畫ヲ立テザルヲ得ナイ狀態ニナツテ居ルノデゴザイマス、其爲ニ朝鮮デハ内地ニモ非常ニ迷惑ヲ掛ケルシ、朝鮮ノ生産者モ亦非常ニ困ルト云フコトヲ考ヘマシテ、非常ナ努力ヲ致シマシテ、出來ルダケノ手立テヲ盡シテ、是ガ内地ヘ殺到スルコトヲ妨ゲテ居リマスノデゴザイマス、御承知ノ如ク外米ノ詰リ輸入關稅ノ引上、是ハ内地ト同様デアリマシテ、是モ朝鮮ニ施行サレテ居リマスカラ、外米ノ輸入關稅ノ引上ヲ先ヅヤッテ、ソレカラ又外米ヲ……從來ハ内地ト異ナリマシテ、内地ニ於キマシテハ飯米ト致シマス分ニ付キマシテモ一切外米ヲ海外ニ仰ガナイト云フコトニナテ居リマシタノデアリマスガ、朝鮮ニ於キマシテハ、朝鮮ノ下層民ガ是非トモ必要トスル所ノ外米デアアルカラ已ムヲ得ナイト云フ口實ノ下ニ、飯米ニ致シマス分ダケハ之ヲ多少大目ニ見マシテ、三十萬石乃至四十萬石ト云フモノヲ今マデ輸入ヲ許可イタシテ居タノデアリマスガ、ソレモ昨年十月、米ノ非常ナ豐作ヲ確實ニ見込ミ得ルコトニナリマシテカラト云フモノハ、嚴重ニ禁止主義ニ相成リマシテ、今デハ内地ト全ク同ジ立脚地ニ立チマシテ、外米ノ輸入ヲ制遏イタ

シテ居ルノデアリマス、次ニ參リマスモノ
ガ、詰リ最モ力ヲ入レマシタ應急對策デア
リマシテ、是ハ只今申上ゲマシタ當時對策
ト同様ナル倉庫ニ米ヲ藏置セシムベキ低利
資金ヲ供給スルト云フ案デハゴザイマス
ガ、ソレヲ非常ニ大規模ニ、又出來ルダケ
ノ手立テヲ盡シテ行フト云フコトニ致シタ
ノデゴザイマス、本質ニ於キマシテハ當時
對策ハ變リマセヌガ、臨時的ノ對策ト致シ
テ又其規模ヲ擴張シ、更ニ又之ヲ複雑ナラシ
ムルト云フ點ニ於キマシテ、餘程趣ヲ異ニ
致シテ居リマス、只今申上ゲマシタヤウニ、
當時的對策ガ今後五箇年間ヲ期シテ始メテ
百万石ヲ朝鮮ニ喰止メルト云フ計算デゴザ
イマスケレドモ、此方策ニ關シマシテハサ
ウ悠長ナコトヲ考ヘテ居ル譯ニ參リマセヌ
ノデ、俄ニ色ミナコトヲ考ヘテ參リマシタ
ノデアリマス、ソコデ只今申上ゲマシタ第
一期計畫ニ屬スル此初年度ノ計畫ガ偶、實
行ノ緒ニ付キマシテ、今將ニ第一年度ヲ終
ラウトスル所デアリマス、ソレカラ第二ノ
昭和六年度ノ計畫ヲ立テル所デゴザイマシ
タガ、迎モ從來ノ計畫ノ如キモノヲ計畫通
リニヤッテ居タノデハ間ニ合ヒマセヌ、ソ
コデ此當時對策其モノヲ利用イタシマシ
テ、之ヲ擴張イタシマシタコトガ先づ第一

ニ致シマシタ應急ノ對策デアリマス、其次
ハ當時對策ノ利用擴張デハ足りマセヌ爲
ニ、更ニ朝鮮ニハ御承知ノ如ク金融組合ガ
非常ニ普及イタシテ居リマスガ、其金融組
合ニ依頼ヲ致シマシテ、金融組合ノ斡旋ニ
依リマシテ、又此當時對策ノ如キ類似ノ施
設ヲサセル、更ニ又水利組合ナリ或ハ地主
組合ヲ作ラセマシテ、其地主ノ組合ナリ或
ハ又產業組合等ニモ助力ヲ致サセマシテ、
朝鮮ニ於ケル有ユル機關ガ總動員ヲ致シマ
シテ之ニ當ルト云フコトニ致シタノデアリ
マス、併ナガラ御承知ノ通りニ、實際ニ倉
庫ノ設備ガゴザイマセヌノデ、中ミ思フヤ
ウニ倉庫ガ得ラレマセヌ、ソコデ假令倉庫
ノ總動員ヲ致シテモソレニ貯藏シ得ル能力
ハ知レタモノデアリマスカラ、是デハイカ
ヌト云フノデ更ニ是等ノ諸種ノ組合等ハ自
分ノ責任ヲ以テマシテ野積ミヲスル、野積
ミヲ致サセマシテ、サウシテ之ニモ金融ヲ
與ヘルト云フ方策マデ立テマシテ、サウ致
シマシテ朝鮮ニ於ケル金融業者、朝鮮殖産
銀行ニ致シマシテモ、或ハ東洋拓殖銀行ニ
致シマシテモ、朝鮮銀行ニ致シマシテモ、
其他ノ諸種ノ金融機關等モ朝鮮經濟全般ニ
互リマスル大問題デアリマスルノデ、全部
是ノ應援ヲ致シマシテ、サウシテ決議ヲ致

シマシテ、此野積ノ糶ニモ金融ヲ致ス、責
任ヲ有テ金融ヲ致スト云フコトマデ致シ
タノデアリマス、其結果ドウ云フ計畫ガ然
ラバ數字的ニハ立ツカト申シマスルト、糶
ニ致シマシテ三百十万六千石ノ米ヲ此際朝
鮮ニ喰止メマシテ、サウシテ一時ニ殺到ス
ルコトヲ防ガウ、糶デゴザイマスルカラ玄
米ニ致シマスレバ百五十數万石ニシカナリ
マセヌノデアリマスルケレドモ、此以上ハ
朝鮮ニ只今ノトコロ物的、人的、力ガゴザ
イマセヌ、出來ルダケノ力ヲ盡シマシテ、
糶三百十万六千石ヲ何トカシテ朝鮮ニ喰止
メルダケノコトヲシヤウト云フコトニ相成
リマシタノデアリマス、サウ致シマシテ之
ニ詰リ此貯藏サレマシタル倉庫、又ハ野積
トシテ貯藏サレタル糶ニ對シマシテ、低利
資金ヲ融通シテヤルト云フコトニ致シマシ
テ、是ハ大藏省トノ了解ヲ得マシテ、既ニ
低利資金一千五百八十万圓ダケノモノヲ大
藏省カラ御融通ヲ得ルコトニ決定イタシテ
居リマス、現ニ此昭和六年一月末マデノ成
蹟ニ依リマスレバ、約二百四十數万石ノ糶
ガ貯藏サレテ居リマシテ、是ハ野積モ倉庫ニ
入ッテ居リマス分モ合計イタシマシテ、約二
百四十數万石ノ糶ガ既ニ貯藏イタサレテ居
リマス、之ニ對シマシテ低利資金ナリ、或

ハ金融業者ガ自ラノ資金ヲ以テ金融イタシ
マシタモノガ約一千万圓以上ニ上ボッテ居
リマサウナ次第デゴザイマス、デ是ダケ
ノ糶ヲ兎ニ角出來秋カラ相當ノ期間ダケ、
否ガ應デモ喰止メルト云フ爲ニハ、只今ノ
低利資金ヲヤリマスルノミナラズ、倉敷料
ノ點ニ於テ、或ハ此融通イタシマスル低利
資金ノ金利ノ定メ方ニ付キマシテ、色ミ考
慮ヲ致シマシテ、適切ナル方法ヲ計畫イタ
シマシタノデアリマシテ、實際ニ實行イタ
シマシタ結果不都合ナ點ヲ生ジマスレバ、
ソレハ更ニ是正イタシマシテ、出來ルダケ
ノ盡力ヲ致シテ居リマサウナ次第デゴザ
イマス、サウ云フ關係ニアリマスノデ、本
年ニ然ラバ朝鮮カラ内地ヘ參ッタ米ノ數量
ハ實際ドウナッテ居ルカ、實際ハ喰止メラレ
タカト云フ御質問ニナリマスルト、是ハ甚ダ
遺憾デアリマスルガ、眞ニ完全ニ參ッテ居リ
マセヌノデアリマス、ソレハ應急對策ノ不
十分デアルコトモゴザイマセウシ、更ニ又
當時對策ガホソノ始マッタバカリデアッテ、
是モ甚ダ不完全デアルト云フコトモゴザイ
マセウ、併ナガラ一番大キナ問題ハ、今年
度ノヤウナ例外的ナ豐作ニ對シテハ少々ノ
對策ヲ以テシテハ迎モ之ヲ防ギ切れヌデヤ
ナイカト斯ウ考ヘテ居リマスノデ、只今ノ

トコロ此昨年十一月カラ二月末マデニ於テ、三百三十一万六千餘石ノ玄米ガ内地ニ入テ居リマス、之ヲ昭和五年度ノ同期ニ比ベマスルト云フト、約四十一万四千石ノ増加ニ相成テ居リマスルノデアリマスルガ、我我ト致シマシテハ、兎ニ角是ダケノコトヲシタ爲ニ不斷ヨリモ約二三百萬石餘計ニ内地ヘ殺到スベカリシ所ノ米ガ此點デ喰止メラレタコトハ、此當時對策ナリ或ハ應急對策ノ效果ヲ兎ニ角相當ニ擧ゲタモノト見ルコトガ出來ハシナイカト、斯ウ考ヘマシテ自ラ慰メテ居ルヤウナ次第ゴザイマス、併ナガラ今年ハ俄カノコトデアリマシテ、如何トモ手ノ下シヤウモナカッタノデゴザイマスルガ、之ニ鑑ミマシテ將來ノ對策ニ付キマシテハ、當時對策ニ致シマシテモ、應急對策ニ致シマシテモ、モット／＼廣ク深ク研究ヲ致シマシテ、萬全ノ策ヲ講ジタイト實ハ考ヘテ居リマスル次第ゴザイマス、序ナガラ申上ゲテ置キマスルガ、朝鮮總督府ニ於キマシテハ、結局鮮米ノ對策ヲ完全ニヤルト云フ爲ニハ、内地ノ米穀法ヲ朝鮮ニモ施行シテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ申シテ居リマス、先程農林大臣カラモ御説明モアリマシタ通りニ、詰リ農林大臣中心ノ米穀法ヲ施行シテ貰ヒタイト云フヤウ

ナ希望ヲ申出テ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ俄カニ可否決定出來マセヌ大問題デアリマスノデ、今後十分ニ研究イタシマシテ、其結果ニ依リマシテ善處イタシタイト斯ウ考ヘテ居リマスルヤウナ次第ゴザイマス、簡單ナガラ大體ノ御話ヲ申上ゲマスコトヨト伺ッテ置キタイノハ、臺灣ハ朝鮮米程大シテ影響ハナイヤウニ聞イテ居リマスガ、臺灣ノ方ノ米ノ内地ニ對スル影響ノ關係ヲ少シ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君) 臺灣ノ方ノ米ハ只今片桐子爵ノ御言葉ニモゴザイマシタヤウニ、朝鮮程マダ多ク我國ニ入ッテ參リマセヌ……内地ニ入ッテ參リマセヌ、從ヒマシテソレニ對シマシテハ朝鮮米程市價ノ上ニ影響ト云フモノハナイノデアリマス、ソレト臺灣ノ方ハ御承知ノ通りニ米ノ出來ル時期ガ二度デゴザイマシテ、一度ハ餘程内地ニ於テ米ノ生産ノ少イ、稍、品枯ニナリマスル時期ニ於キマシテ、即チ端境近クニ内地ニ入ッテ參ルト云フヤウナ事情ガアリマスノデ、ソレ等ノ點カラ致シマシテ只今朝鮮米ガ出廻期ニ一時ニ殺到ヲシテ來ルト云フ

ヤウナ事情トハ大分趣キガ異ッテ居リマスルノガ現狀デゴザイマス、大體ニ於キマシテ一年ノ中ニ臺灣カラ參リマスル移入高ハ二百三四十萬石ト云フモノガ、此頃ノ大體ノ趨勢デアルト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス……チヨット申落シマシタガ、是ハ只今マデノ形勢デゴザイマシテ、御承知ノ通りニ臺灣ニ於キマシテ有名ナル嘉南大圳ノ工事が完成ヲ致シマシタノデアリマス、此處ニ於キマスル産米ノ狀況ガ如何ヤウニナリマスルカト云フコトニ付キマシテハ、チヨット私共正確ニ想像ガ出來マセヌノデゴザイマスガ、是ガ餘程米作ニ有望デアリ、所謂蓬萊米ノ生産ニ集中ヲ致スト云フヤウナコトニ相成リマスルト云フト、ソコニ一段ノ生産ノ……内地移入ニ適スル米ノ生産ノ増収ガ出來ルドラウカト思ヒマス、併シ是ハ漸ク竣工イタシタバカリデアリマシテ、只今ノ所デ如何ヤウニ相成リマスカ、相當ノ増加ハアリマセウト思ヒマスガ、的確ニ御答ヘ出來ナイノデアリマス

○子爵片桐貞次君 尙ホ外ノ問題ヲチヨット伺ッテ置キマスガ、米穀法ノ發動ニ對シマシテ、率勢米價ヲ標準トシテノ表ヲ茲ニ戴イテ居リマスノデ、ソレノ二割上二割下ノドノ位發動ノアルト云フ、前ノ豫想表ハ戴イ

テゴザイマスガ、今度率勢米價ヲ標準トシ、又生産費竝ニ家計費ヲ斟酌シ致シマス、今後此發動ノ時機ノ豫想ハ御質問スルノモムツカシイカト思ヒマスガ、今マデカラノ關係ヲ御考ヘニナッテ、ドウ云フ風ト云フ、豫想ト申シマス、御返答ニ御困リニナルカト思ヒマスガ、御考ガアリマスナラバ、此際伺ッテ置キマス

○國務大臣(町田忠治君) 甚ダ困難ナル問題ダト思ヒマスガ、從來ハ相當度數ガ多カッタノデアリマス、昨年ニ於キマシテモ、調節米ノ外ニ政府ガ買上ゲヲ致シタト云フコトハ、僅カ三箇月ノ間ニ二度アリマス、又從來ノ經驗ニ依リマシテ見テモ、相當度數ガ多カッタノデアリマス、此度ノ立方ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、若シ生産費生計費ガ調査ガ出來マセヌ前ハ、暫ク率勢米價、上ニ二割下ニ二割ト云フコトデ、立テテ出動イタシマス、基準ト致シマスレバ、米穀調査會等ニ於テノ意見モ左様デアリマシタシ、私共考ヘマスルニハ、端境期ガ濟ミマシタ時ニ、凡ソ率勢米價ト云フモノガ明カニナッテ居リマスカラ、ソレヨリモ安クナレバ政府ガ發動スルコトヲ得ト致シマス法律デアリマシテ、必ズシモ發動シナケレバナラヌト、法律ニ依ッテ義務付ケラレテハ居リマセ

ヌ、併シ政治的ニ考ヘマス、下ニ二割ヲ割リマスレバ、政府ガ發動スルコトヲ得ト致シテアル意味ハ、實際問題トシテハ多クノ場合ニ於テハ發動スル時デアルト思ヒマス、ソレヲ打遣テ置クト云フコトハ、政治的ニ考ヘテ見テモ、餘程困難ナモノデアラウト想像イタシマス、然ルニ一面政府ニ、相當ニ威力アル資金ヲ政府ガ持ッテ居リマスルト、其下ニ二割割タ場合ニハ政府ガ買フンダト云フコトガ一般ニ想像サレテ居リマスルカラシテ、先ヅ定期市場ニ於キマシテ、思惑上安イ米ヲ賣ルト云フ者ハ大體ニナイト思ヒマス、其意味カラ見マスルト、今後ハ政府ガ實際ニ金ヲ使フ分量ハ從來ヨリ少イシ、又發動スル機會ガ從來程ナクシテ效果ガ相當得ラルルデアルマイカ、又得ラルル考ヲ持チマシテ之ヲ提出イタシタノデアリマス、併シ一面昨年ノヤウニ大豐作デアッテ、政府ノ資金ダケデモ間ニ合ハスト云フヤウナコトガ、世ノ中ニ想像サレマス、恐ラクハ大暴落ヲ來ス虞レガアルト同時ニ、私共ノ信念ヲ申シマス、今後ハ農家ノ米價維持ノ考ハ、獨リ政府ノ力ニバカリ待ツト云フ從來ノ考ヲ餘程變ヘテ貫ハヌケレバ、今後何人ガ責任者ニナラレテモ、頗ル困難ノコトト思ヒマシテ、私共ハ出來

マスレバ、次ノ議會位ニ於キマシテ、民間ノ親若クハ玄米デ端境期マデ貯フル者ニ對シテハ出來得ルナラバ獎勵金ヲ與ヘテ、之ヲ貯藏サシテモ、國家自カラ之ヲ買ッテ調節スルト云フヨリハ、效果ガ同様デアッテ財政上カラ見テモ餘程輕クナル、斯様ナ見方ヲ致シテ居ルト同時ニ、答申案ニヨリマスル農業倉庫モ相當出來テ居リマス、現在デモ玄米六百万石位入ル容量ガ既ニアルト思ヒマスガ、尙ホ普及セヌ所ニハ相當ノ促進ヲサセマシテ、今後ト雖モ矢張り低利資金ヲ與ヘテ、農家自カラ之ヲ賣出サナケレバ、農家ノ爲ニモ、米價維持ノ效果ガ現ハレテ、利益デアルト云フ信念ヲ農家ニ持タスコトニ一層努力シテ、政府ノ此案ト兩々相併セテ行ヒマスルト、今後ハ從來ニ比シテ效果ガ相當得ラルルデアラウト、斯様ナ見地カラ今後ノ對策ヲ立テル考デアリマス

○絲原武太郎君 只今率勢米價ノコトニ付テ御質問ガアリマシテ、大要今後ノ大臣ノ御方針ヲ拜聽スルコトヲ得タノデゴザイマス、率勢米價ノ算出法ハ此御説明ヲ戴キマシテ略ボ了解ヲ致シマシタ、併ナガラ此率勢米價ノミニ依ッテ基準米價ヲ決定スルト云フコトニナリマス、只今片桐子爵ノ御質問ノ如ク、將來米穀法ノ發動ノ如キハ餘

程少クナルト云フコトハ事實デアリハシナイカト想像ガ出來マス、ソレハ既ニ御示シニナリマシタ表デモソレハ明カデアリマス、而シテ其爲ニ此率勢米價ノ算出ノ基礎トシテ居リマス所ノ日銀ノ調査ノ一般物價指數ト云フモノ、是ハ衆議院デモ相當議論ガアツヤウデゴザイマス、私共考ヘマシテモ此物價指數ニ依ルト云フコトニ付キマシテハ相當缺點ガアルモノデハナイカト思ハレマス、從ッテ此物價指數ニ依リマシテ算出セラレマシタ所ノ米價率……米價率及ビ其率勢米價ト云フコトハ生産者側カラ見マスルト誠ニ妥當デナイモノデナイカト想像出來ルノデアリマス、斯ク率勢米價ノ關係法ガ御決定ニナリマシタノデゴザイマスガ、衆議院ニ於キマシテハ何カ他ノ方法、「バラボラ」式トカ何トカ云フモノデヤッタ宜イデヤナイカト云フ議論モアツヤウデゴザイマスガ、是等ノコトハ私共ハ其方面ノ知識ガ少ウゴザイマスカラ、何レガ適當デアルカト云フコトハ想像シ得兼ネマスガ、要スルニ從來ノ方法デ米穀法ノ出動セラルルノト、今回ノ率勢米價ニ依ッテ出動セラレルトハ、根本ノ米穀ニ對シマス御方針ガ、從來ノ御方針ハ兎ニ角ト致シマシテ此提出案、提出セラレマシタ案カラ見マシテモ、率勢

米價ノミニ依ッテ暫クノ間之ヲ出動時期ト御決定ニナリマス、云フコトハ、生産者ノ方ハ確ニ從來ヨリ有利ニナルト云フコトハ明カニ想像サレルノデアリマス、之ニ依リマシテ規下ノ農村ノ實情ニ照シマシテ、此率勢米價ノミニ依ッテ出動時期ヲ御決定ニナルコトガ至當デアリヤ否ヤト云フコトハ、是ハ御想像ニ御委セ致シマスガ、兎モ角只今申上ゲマシタヤウナコトニ相成ルモノデナイカト想像サレマス、暫定的ノ率勢米價ハ極メテ生産者側カラ言フト已ムヲ得ナイ時期ダケニ、若シ此法ニ依ッテ律セラレルト云フコトニナリマスレバ短カイ時期ニ於テドウカ、此方法ニ御據リニナッテ最モ速ニ基準米價ノ算出方法、即チ生産費ト生計費ト云フモノヲ御調査ヲ御終リニナリマシテ、所謂米穀法ニ於テモソレナラバ先ヅ完全ナ公定ノ米價ノ基準ガ得ラルルデアラウト云フヤウナ御答申ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、其方ヲ一日モ速ニ常態ニ復スルヤウニ相成リタイト思ヒマスガ、前回ノ委員會ニ於キマシテ、衆議院ノ方カラモ此調査ヲ御急ギニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ極ク大切ナコトデアリマスカラシテ、大臣ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、此生産費ノ調査生計費調査ヲ完了ニナリマシ

テ、而シテ此生産費ト率勢米價ト生計費ト此三ツヲ併セテ居ル所ノモノヲ以チマシテ米價ノ基準ヲ御定メニナルト云フ凡ソノ御見込ヲ御付ケニナッテ居ルト思ヒマスガ、ソレヲドウゾ御聽キシタイト思ヒマス

○國務大臣(町田忠治君) 絲原君ノ御尋ハ

能ク了解シマシタ、衆議院ノ委員會ガ隨分長ク續キマシタガ、今ノ御尋ノコトガ主ナル質問ノ一ツト相成ッテ數十回ニ亙ッテ質問應答ヲ重ネタノデアリマス、如何ニモ生産者側ノ方ハ率勢米價一本デ暫定的ニ是一ツニ依ルト云フコトニ對シテ、農家全體ノ爲ニ不利益デアラウト云フ隨分御議論モアッタ、故ニ私共モ初メカラ是ハ附則トシテ臨時ノ一時ノコトトシテ立テタノデアリマシテ、本式ニ家計費、生産費ヲ一方ノ基準ト致シ、之ニ配スルニ率勢米價ヲ以テスルト云フ意味デアリマスカラ、出來ルダケ取急ギマシテ今年ノ追加豫算ニモ家計費、生産費調査ノ爲メ經費ヲ追加豫算デ御要求イタシテ居ル次第デアリマス、モット大キナ金額ヲ要求イタシマシタガ、財源ノ關係デ已ムヲ得ズ金額ハ餘リ多クアリマセヌガ、一通リソレデ參ル積リデアリマス、先刻外ノ方カラ御尋ガアリマシタ如ク一年ヲヤルノデアリマスガ、當年ハ四月カラ生産費調査ニ掛

テ十一月ニ出來ルノデアリマス、家計費ノ方ハ九月カラ始メテ八月ニ終ル、一箇年ノ材料ヲ集メマシテソレヲ統計局ノ整理スルニ三箇月ヲ要スルノデアルサウデ、如何ニ早ク參リマシテモ來年ノ暮ノ米穀年度デ行クモノハ最モ早ク致シテモ左様ナコトハ來年ト思ヒマス、併シ法ノ立方ノ飽迄モ一面ニハ生産費、一面ニハ家計費ト云フモノヲ率勢米價ト併セ用キルコトニナリマスノガ本則デアリマスカラ、當局トシテハ取急イデ此調査ニ掛カルコトダケヲ茲ニ明カニ申上ゲテ置キマス

○絲原武太郎君

モウ一應大臣ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、若シ生産費ノミガ御調査濟ニナリマシテ、所謂家計費ガ後ニ殘ルト云フコトニナリマシタ場合ニ於キマシテハ、其際ニ於テハ生産費ヲ率勢米價ニ併セテ御覽ニナルヤウナ御考デアリマスカ

○國務大臣(町田忠治君) 先刻橋本委員ヨ

リモ稍、只今ノ御尋ト同ジ質問ダト思ヒマスル左様意味合ノ御質問ガアリマシタ、當局ト致シマシテハ出來ルダケ雙方ヲ調査シテ完備シテ、サウシテ生産者側ノ立場ト消費者側ノ立場ヲ考慮ニ入レテ對策ヲ考ヘタイト云フノガ希望デアリマス、併シ理論カラ推シテノ御質問デアレバ米ヲ買ウト云フ

場合ニハ家計費ハ關係ハナイヂヤナイカ、率勢米價ト生産費ガアレバ出動スル基準ガ得ラレルカラ、家計費ノ調査ガ無クトモ生産費ノ調査ガアレバ、買フ場合ニ基準ガ出來ルデハナイカト云ハレレバ左様デアルト申上ゲルヨリ外アリマセヌ、併シ大局カラ申シマスレバ消費者側ガ如何ナル地位ニアルカ、生産者側ガ如何ナル地位ニアルカト云フコトヲ考慮シテ、必要上出來ルダケ調ベヲ急イデ居ルト申シマシタガ、理論カラ御話ニナルト御尋ノ通りニ買フ場合ニハ必シモ家計費ヲ基準トスル必要ガ無イト云フコトダケハ御同意イタシマス

○絲原武太郎君

私ハ此際チヨット大臣ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、此生産費ノ只今申上ゲマシタ如ク、問題ト云フモノハ極メテ此米價ノ基準相場ヲ算出イタシマスニ最モ重大ナル關係ノアルモノト私ハ信ズル者デアリマス、而シテ此現在ノ一般國民ノ負擔ノ方ヲドウ云フ風デアアルカト云フコトヲ考ヘマスルト、大藏省ノ方ノ調査ノ表ニ依リマシテモ此農産物ノ生産者ガ、即チ米穀ノ生産者ガ、消費者即チ商工業者其他ノ方面ノ業者、ソレガ非常ニ負擔ガ多イト云フコトガ是ハ明カナ事實デアアルノデゴザイマス、此大藏省ノ最近ノ表ヲ見マシ

テモ、所得ノ千二百圓程度ノ階級ニ於キマシテ、所謂農業生産者トカ、其他ノ商工業ニ從事シテ居リマスモノトハ約二倍一分ノ過重ノ負擔ヲ致シテ居リマス、二千圓程度ニナリマシテモ二倍三分トカ、或ハ三千圓程度ノ者ハ二倍四分全部斯ウ云フ風ニ非常ナ過重ナ租稅ノ負擔ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトガ、私ハ當ヲ得テ居リマセヌト思フ、而シテ今度ノ米價ノ基準ヲ買上ノ際デモ生計費デモ若シ入レルト云フコトニナリマス、消費者ノ側ニ於キマシテハ、只今申シマスヤウニ課稅負擔ノ先ヅ買入レル表ニ現ハレテ居リマスル所デハ、斯ウ云フ方面ノモノノ御參考ニナサレテハ、而シテ生産者ノ今ノヤウナ課稅ノ負擔ノ重イモノノ方ノ生産費モ御覽ニナルト云フコトニナッテ御決定ニナルヤウデゴザイマスガ、是ハ買入レル時ト、賣捌ク時……賣却ノ時モ色々御參考ニナルコトト思ヒマスルガ、大體ニ於キマシテ此農業者側ノ負擔ガ一般ノ農業者以外ノ人ミノ負擔ヨリモ過重ニナルト云フコトニナルト私考ヘテ居リマスガ、此點ニ付キマシテ農林大臣ハドウ云フ御所見デ御出デニナリマスカ、ソレヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(町田忠治君)

只今大藏省ノ方

ノ材料云々ト云フ御話ガアリマシタガ、實ハ今農務局長ト茲デ相談ヲシテ居リマシタガ、大藏省ガ左様ナ負擔ノ發表ヲ致シタト云フコトハ、私ノ方デハ正確ニ分ッテ居リマセヌ、又農民ノ負擔ト云フコトノ事實ニ於テハ、私共モ大體農家ノ負擔ノ容易カラヌコトヲ能ク承知シテ居リマス、併シ其中ノ最モ農家ノ負擔ノ多イ事柄ハ國稅トシテノ負擔ヨリモ、地方稅竝ニ町村稅等ニ於テ、殊ニ戶數割等ノ關係カラ農家ヲ中心トシテ居ル農村ノ負擔ガ、事實上餘程負擔ノ多イト云フコトノ大體ハ御同感デアリマス、唯此負擔ヲ如何ニシテ減ズルカト云フコトノ方法ニ付キマシテハ、或ハ大藏當局、內務當局ガ、最モ其方ニ考ヲ費シテ居ルコトト思ヒマスガ、農林當局ト致シマシテハ、此負擔ヲ減ジマスルニ出來ルダケ農產物ニ對スル生産費ヲ少クスルト云フ立テ方ト、或ハ販賣ノ改善等ニ依リマシテ、消費者ノ手ニ入ル間ノ途中ニ於テ無駄ニ費ス經費ガ、自ラ生産者ニ這入リマスルベク、貨物ノ分量ヲ少クスルノデアリマスルガ故ニ、之ヲ避ケルコトノ施設ヲ折角ヤッテ居リマスルコトガ第二デアリマス、第三ニハ從來ノ農家ノ負擔ガ四十億乃至五十億ト相成ッテ居ル、如何ニシテモ此負擔ヲ輕減スルコトノ

方法ヲ立テナケレバナラヌ、大藏大臣カラモ申サレタト思ヒマスガ、私モ機會アル毎ニ御答ヘシテ居リマシタガ、議會ガ了ヘマスト、農林省トシテハ農林審議會……幸ヒニ御協贊ヲ得デアリマスル農林審議會ヲ開キマシテ、農家ノ負擔ヲドウシテ安クスルカト云フ問題ヲ、先ヅ以テ最モ必要ナル問題トシテ急イデ研究スルコトガ一ツ、又政府カラ出シテアル耕地整理、其他低利資金一億五千萬圓アリマス、農產物ノ價格ノ下落ノ爲ニ、年賦ノ元利償還ニ最モ困難ヲ致スト云フコトノ事情ハ屢、陳情モアリマスシ、我モ同情ニ堪ヘマセヌノデ、大藏大臣モ凡ソ計畫ガ立ッテヤウデアリマス、先ツ以テ此一億五千萬圓ノ低利資金ヲ數年ノ間償還ヲ延期スルカ、或ハ長イ期限ニ借替ヘテ、此農產物ノ下落ノ際ニ於テ、從來ノ如ク年々年賦トシテ拂フベキ金額ヲ大ニ輕メテヤルカ、此應急策モ考ヘテ居リマスガ、モット進ンダ稍、根本的ナ對策トシテハ、農林省側トシテハ農家ノ負擔ヲ減ズルコトモ、租稅ノ方面カラ見マスルコトハ大藏、內務兩大臣ノ方ニ任シテ、私ノ方ハ生産費ノ價格ヲ、出來ルダケ農家ノ手ニ這入ル農產物ノ價格ヲ多クスルコトト、生産費ヲ出來ルダケ低廉ニナルコトノ經營ニ努力スル

立場ヲ執ッテ居ル、例ヘバ昨年御協贊ヲ願ヒマシタ肥料改善配給等ノ事ニ付キマシテモ、私共ノ見ル所ハ尠カラズ農家ノ負擔ヲ減ズル方ニ進ミツアルト思ヒマス、農林省ノ側デハ負擔輕減、生産費ヲ低廉ニスルコト、農產物販賣ノ上ニ於テ農家ノ收入ガ比較的増スコト、斯様ナ方面カラ何トカ農家ノ負擔ヲ輕減シタイト云フコトヲ考ヘテ居ルモノデアリマス

○絲原武太郎君 只今大臣ヨリ詳シク御高見ヲ拜承イタシマシタガ、能ク御意見ヲ伺フコトガ出來マシタ、只今御話ノ中ニアリマシタ如ク、租稅ノ事カラ申シマシテモ、農家ノ租稅負擔ハ相當重イ負擔ヲ受クルコトニ相成ッテ居リマス故ニ、是等ノ點ニ付キマシテモ無論御主管ハ異リマスケレドモ、能ク農林大臣ノ方ニ於カセラレマシテモ御考慮下サイマシテ、十分租稅ノ制度ノ改善ニナル時ナドニ於キマシテモ最モ力ヲ御入レ下サイマシテ、大藏當局ト內務當局ト御交渉ヲ願ヒタイ、尙ホ地方稅ノ點ヲ考ヘマスルト、二層此地方稅ガ現在農家ノ租稅負擔ヲ重カラシメテ居ル最モ大キナ點デゴザイマシテ、此點ニ付キマシテモ何卒內務當局ノ方ヘ十分ドウゾ相當御交渉ヲ下サレテ、能ク地方稅等ニ付キマシテモ適當ナ時機ニ於

キマシテ、改正相成ルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、宜シクドウゾ御願ヒ致シマス

○子爵土岐章君 只今ノ所政府當局デハ、内地米ノ數量ヲ減ラス爲ニ、海外輸出ヲサレテ居ルト云フコトデアリマスガ、價格ノ點ハ色ニ販賣ノ上カラ云ッテ御申述ベニナルコトハ困難ト思ヒマスガ、其販賣方面ハ世界ノ何レノ方面ニ向ッテ販賣セラレテ居ルノデアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレハ只今私共承知シテ居リマス範圍デハ、西班牙ニ於テモ十年前程カラ、又伊太利ニ於テモ殆ド十年前程カラ、日本ノ米ト云フモノガ非常ニ嗜好其他ニ於テ適當デアルト云フコトデ、兩國ノ政府ハ此栽培法……日本ノ栽培法ヲ採入レマシテ、著々其栽培法ヲ行ッテ居ルヤウニ伺ヒマス、所デ私達新聞等ニ依ッテ承ル所ニ依レバ、内地米ノ處分トシテ支那及印度方面ニ販賣ヲ求メテ居ルトカ云フコトヲ承ッテ居リマスガ、果シテ政府ノ主トシテ其販賣ヲ求メテ居ラレル方面ハ何處デアリマスカ、若シ御分リデシトラ伺ヒタイ

○國務大臣(町田忠治君) 委員長ニ御願ヒシマスガ、相成ベクハ此點ハ速記ヲ除イテ御話ヲ申上ゲル方ガ宜イダラウト思ヒマスガ、左様ニ御許シテ願ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ止メ

テ……

〔速記中止〕

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メ

テ……

○政府委員(石黒忠篤君) 只今、土岐子爵ノ御尋ノ米ノ食料以外ノ利用ノ方面ヲ政府ハ十分ニ調べテ居ルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、是ハ釀造ノ方デゴザイマストカ、ト云フヤウナ方面デ調査ヲ致シテ居リ、又

其他民間ニ於テ色々清酒以外ノ、酒類ニ造リマスルコト、或ハ菓子ニ造リマスルコト

ト云フヤウナコトニ付テモ、進ンデ居ルヤウニ承知シテ居リマスガ、此利用ノ方面ノ調査ヲ國ガ米ニ付テ特ニヤルト云フコトニ

ハ、只今迄マダ進行シテ居リマセヌ、私共ハ初メニ御質問ノゴザリマシタ米ノ保管……

稻トシテノ害蟲デナク、米トシテノ害蟲及氣候ノ變化ニ依ル米質ノ變化、ソレカラ米ノ搗精ノコト、即チ搗キマスコトデス、ソ

レカラ利用ヲ致シマスルコト、ト云フヤウナ方面ノ研究ヲ、是ダケノ澤山ノ米ヲ政府ガ持ツノデゴザイマスカラ、是非致シタイ

ト云フ考ヲ以チマシテ、米穀研究所ト云フヤウナモノヲ拵ヘタイト云フ考ヲ以テ、展計畫モシテ見テ居ルノデゴザイマスガ、豫

算等ノ關係上、今日致スコトガ出來マセヌノデ、害蟲ノ方ノコトヲ僅ニ片手間ニ米穀事務所ニ於テ研究ヲ致シ、又氣候ト保管トノ關係ヲ研究イタシテ居ル、是モ專門ニ研究イタスコトガ出來ナイノデアリマス、片手間ニヤッテ居ルト云フ事情ニ止テ居リマス、御尋ノヤウナコトニ對シマシテ、ドノ程度迄ヤッテ居ルカト申シマスト、殆ドヤッテ居リマセヌト申上ゲルノヲ誠ニ遺憾ト存ジマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 如何デセウカ、今日ハ此程度デ散會シテハ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵堀田正恒君) デハ是デ散會

イタシマス、明日ハ午前十時カラ……

午後四時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 橋本圭三郎君
委員

侯爵松平 康昌君
子爵松平 直平君
子爵片桐 貞央君
子爵土岐 章君
木場 貞長君
男爵長松 篤榮君

上山滿之進君

男爵今枝 直規君

男爵足立 豐君

男爵三須 精一君

湯川 寛吉君

本山 彦一君

田村 新吉君

絲原武太郎君

本間千代吉君

國務大臣

農林大臣 町田 忠治君

政府委員

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林書記官 荷見 安君

拓務省殖産局長 殖田 俊吉君